

北海道大学 文学部

2020

*School of Humanities and
Human Sciences,
Hokkaido University*

2020年度 北海道大学 文学部



北海道大学
文学部

*School of Humanities and Human Sciences,
Hokkaido University*

文学部長からのメッセージ

「人文学」への誘い

文学部で行われている授業の学問分野を一言で表現するならば、「人文学」という言葉が相応しいだろうと思います。事実、北大の文学部では、人文科学科という一つの学科しかありません。それでは「人文学とは何か」ですが、これについては古今を通じてさまざまな説明の仕方があります。

人文学、英語ではhumanitiesですが、このhumanitiesは「人間性」や「人間」を指すhumanityの複数形です。漢字の表記でも同じですが、この言葉から類推すると、人文学というのは、「人間に関係する学問」と言うことができます。この人文学は歴史的にはイタリア・ルネサンスにおいて興隆した「フマニタス研究(studia humanitatis)」に遡ることができ、このフマニタス研究は、古代ギリシア・ローマの哲学・文学などの原典研究を通じて幅広い教養を身につけ、人間性を回復することを目的としていました。そもそもこのラテン語のフマニタス(humanitas)は、「人間性」という意味とともに「教養」という意味もあり、教養と人間性が不可分な関係にあることが分かります。

「人文学とは何か」に話を戻し、この歴史的な経緯から考えますと、人文学とは「人間性を陶冶する教養を身につける学問」と言うことができるように思います。文学部で学ぶ人文学は、私たちが人間として豊かに生きていくために必要な学問であり、人文学を学ぶことは、人間として豊かに生きる教養を身につけることとすることができます。しかしそれは単にさまざまな知識を詰め込むことを意味してはなりません。人文学は、もちろん古今東西のさまざまな知識などを対象としていますが、自分で考えることができ、自分の言葉で表現することができ、自ら行動することができる人間となることを目指しています。

昨今、実学志向が強くなりつつあり、就職や資格を重視する人たちは、人文学という学問にあまり魅力を感じないかもしれません。しかし人間として生きていくための学問として、人文学は最も重要な学問の一つだと思います。そのため文学部で学ぶ人文学は、卒業した後も学び続けることを必要としています。大学では一生涯学び続けることができる学問的な基礎を身につけ、卒業後も一人一人が学び続けることが大切です。豊かな教養を身につけた者が、私たちの社会を担い、また次の世代へと文化を継承していくのです。

文学部では約100名の教員が、多彩な分野の教育研究にあたっています。また豊富な文献や資料を擁しており、充実した教育研究環境を整えています。緑豊かなこの広大な北大のキャンパスで「人文学」を学んでみませんか。



北海道大学文学部長

山本文彦 やまもと ふみひこ

CONTENTS

文学部概要

書香の庭	03-04
新しい体制に 4コース 18研究室	05-06
文学部の4年間	07-08

各コース紹介

哲学・文化学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	09-10
履修モデル / 先輩から	11
教員紹介 / 卒業論文テーマ	12

歴史学・人類学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	13-14
履修モデル / 先輩から	15
教員紹介 / 卒業論文テーマ	16

言語・文学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	17-18
履修モデル / 先輩から	19
教員紹介 / 卒業論文テーマ	20

人間科学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	21-22
履修モデル / 先輩から	23
教員紹介 / 卒業論文テーマ	24

卒業論文	25-26
留学制度	27-28
資格・免許	29-30
卒業後の進路・就職	31-34
大学院進学	35-36
研究者に学ぶ	37-40
入試関連情報	41
学生サポート情報	42
キャンパスマップ	43

蔵田 伸雄 教授 推薦
純粋理性批判(上・下)
 イマヌエル・カント(著)
 石川文康(訳)
 筑摩書房

田口 茂 教授 推薦
**現象学という思考
(自明なもの)の知へ**
 田口茂(著)
 筑摩書房

千葉 恵 教授 推薦
信の哲学(上・下)
 千葉恵(著)
 北海道大学出版会

近藤 智彦 准教授 推薦
国家(上・下)
 プラトン(著)
 藤沢令夫(訳)
 岩波書店

後藤 康文 教授 推薦
堤中納言物語の真相
 後藤康文(著)
 武蔵野書院

雷田 康之 教授 推薦
假名手本忠臣蔵(DVD)
 国立劇場
 人形浄瑠璃文楽名演集
 通し狂言

野本 東生 准教授 推薦
平安朝文章史
 渡辺実(著)
 東京大学出版会

近藤 浩之 教授 推薦
戦国縦横家書
 大西克也・大塚敦弘(著)
 東方書店

佐野 勝彦 准教授 推薦
**働きたくないイタチと
言葉がわかるロボット
人工知能から考える「人と言葉」**
 川添亮(著)
 朝日出版社

村松 正隆 准教授 推薦
笑い
 ヘルムホルツ(著)
 増田靖彦(訳)
 光文社古典新訳文庫

佐々木 啓 教授 推薦
精神の生態学
 グレゴリー・ペイトン(著)
 佐藤良明(訳)
 新思社

林寺 正俊 准教授 推薦
**世界古典文学全集
仏典(1・II)**
 筑摩書房

武田 雅哉 教授 推薦
金瓶梅詞話
 明・蘭陵笑笑生(著)
 小野忍・千田九一(訳)
 岩波文庫

卯 和順 教授 推薦
列女伝(1-2-3)
 劉向(著)
 中島みどり(訳注)
 平凡社



しよ 書香の庭

SHOKOU no NIWA

文学部の教員が、新入生と一緒に読みたい本を紹介。多彩な教員が、皆さんをお待ちしています。

宮嶋 俊一 准教授 推薦
祈り
 フリードリヒ・ハイラー(著)
 宮嶋俊一(共訳)
 国書刊行会

応 雄 教授 推薦
シネマ(1-2)
 ジル・ドゥルーズ(訳)
 法政大学出版局

押野 武志 教授 推薦
日本探偵小説を知る
 押野武志他(編・著)
 北海道大学出版会

水溜 真由美 准教授 推薦
文化と帝国主義
 エドワード・W・サイード(著)
 みすず書房

池田 証壽 教授 推薦
謎の漢字
 由来と変遷を調べてみれば
 世原宏之(著)
 中央公論新社

白木 沢見 教授 推薦
「大日本帝国」崩壊
 加藤聖文(著)
 中央公論新社

谷本 晃久 教授 推薦
**近世風俗志
一守貞謄稿(1~5)**
 喜田川守貞(著)
 宇佐美英機(校訂)
 岩波書店

小倉 真紀子 准教授 推薦
**宇治拾遺物語
全訳注(上・下)**
 高橋貴・増古和子(著・訳)
 講談社

川口 曉弘 准教授 推薦
**王政復古
慶応三年十二月九日の政変**
 井上勲(著)
 中央公論新社

加藤 重広 教授 推薦
**新訳 ソシュール
一般言語学講義**
 フェルディナンド・ソシュール(著)
 小林英夫(訳) / 町田健(訳)
 岩波書店 / 研究社

佐藤 知己 教授 推薦
**フェルディナンド・ソシュール
一般言語学講義 抄**
 フェルディナンド・ソシュール(著)
 大学書林

清水 誠 教授 推薦
ゲルマン語入門
 清水誠(著)
 三省堂

野村 益寛 教授 推薦
**英語の感覚・
日本語の感覚**
 池上嘉彦(著)
 NHKブックス

橋本 雄 准教授 推薦
**贈与の歴史学
儀礼と経済のあいだ**
 桜井英治(著)
 中央公論新社

井上 敬介 助教 推薦
新版 北海道の歴史(下)
 関秀志・桑原真人
 大庭幸生・高橋昭夫(著)
 北海道新聞社

太田 敬子 教授 推薦
**東方キリスト教諸教会
基礎データと研究案内**
 三代川寛子(著・編)
 明石書店

吉開 将人 教授 推薦
わが半生
 愛新覚羅溥儀(著)
 小野忍(訳)

藤田 健 教授 推薦
**The Wind-up
Bird Chronicle**
 Haruki Murakami(著)

藤本 純子 助教 推薦
中級ドイツ語のしくみ
 清野智昭(著)
 白水社

小川 健二 准教授 推薦
脳のなかの幽霊
 V・S・ラマチャンドラン(著)
 サンドラ・フレックスラー(著)
 山下篤子(訳)
 KADOKAWA

大沼 進 教授 推薦
**生態学と
社会科学の接点
シリーズ 現代の生態学
全11巻[4]巻**
 佐竹 暁子・藤佐 庸(編)
 共立出版

佐藤 健太郎 准教授 推薦
**省察すべき実例の書、
アラブ人、ペルシャ人、
ベルベル人および
彼らと同時代の偉大な
支配者たちの歴史に
関する説き及ぶその結末の集成**
 イブン・ハルドゥーン(著)

村田 勝幸 教授 推薦
完訳 マルコムX自伝
 マルコムX(著)
 濱本武雄(訳)
 中央公論新社

山本 文彦 教授 推薦
**ハーメルンの笛吹き男
伝説とその世界**
 阿部謙也(著)
 ちくま文庫



結城 雅樹 教授 推薦
**Culture and
Group Processes
(Frontiers in
Culture and Psychology)**
 Yuki, M. & Brewer, M. (編)
 Oxford University Press

瀧本 彩加 准教授 推薦
**動物たちは
何を考えている?
—動物心理学の挑戦—**
 藤田和生(著・編)
 日本動物心理学会(監修)
 技術評論社

竹澤 正哲 准教授 推薦
**協力する種
制度と心の共進化**
 サミュエル・ポウルズ(著)
 ハーバート・キングス(著)
 竹澤正哲・高橋伸幸他(訳)
 NTT出版

中島 晃 助教 推薦
**統計思考の世界
Statistical
Mandala**
 統計思考の世界
 曼荼羅で読み解く
 データ解析の基礎
 三中信宏(著)
 技術評論社

小杉 康 教授 推薦
神話の力
 ジョゼフ・キャンベル(著)
 早川書房

小田 博志 教授 推薦
エスノグラフィ入門
 小田博志(著)
 春秋社

北村 清彦 教授 推薦
藝術解釈学
 北村清彦(著)
 北海道大学出版会

櫻井 義秀 教授 推薦
**しあわせの宗教学
ウェルビーイング研究の視座から**
 櫻井義秀(編)
 法蔵館

平澤 和司 教授 推薦
**格差の社会学入門
学歴と階層から考える**
 平澤和司(著)
 北海道大学出版会

池田 透 教授 推薦
**日本の外来哺乳類
管理戦略と生態系保全**
 山田文雄(編)、池田透(編)
 小倉剛(編)
 東京大学出版会

橋本 雄一 教授 推薦
**二訂版
QGISの基本と
防災活用**
 橋本雄一(編)
 古今書院

浅沼 敬子 准教授 推薦
**Circulating World
循環する世界**
 浅沼敬子(著)
 ユニコチアソシエイツ

佐々木 亨 教授 推薦
文化の「発見」
 吉田憲司(著)
 岩波書店

鈴木 幸人 准教授 推薦
日本その心とかたち
 加藤周一(著)
 徳間書店

笹岡 正俊 准教授 推薦
**東南アジア地域
研究入門
1 環境**
 山本信人(監修)
 井上真(編)
 慶應義塾出版会

仁平 尊明 准教授 推薦
**悩める人間
人文学の処方箋**
 仁平尊明(編)
 北海道大学出版会

立澤 史郎 助教 推薦
**ソロモンの指環
動物行動学入門**
 コントラート・ローレンツ(著)
 日高敏隆(訳)
 早川書房

ラフェイ・ミシェル 准教授 推薦
My Lantern
 河井道(著)

瀬名波 栄潤 教授 推薦
**セルロイド・クローゼット
(DVD)**
 ロブ・エプスタイン&ジェフリー・フリードマン(監督)
 ヴィトル・ルッソ(原作)

竹内 康浩 教授 推薦
**IX
宮沢賢治
存在の祭りの中へ**
 見田宗介(著)
 岩波書店

戸田 聡 准教授 推薦
**Biblia Graeca
(Septuaginta & Novum
Testamentum Graece)**
 A. Rahfs / R. Hanhart(編)
 Deutsche Bibelgesellschaft

宮下 弥生 助教 推薦
The Winter's Tale
 William Shakespeare(著)

教員の著書や美術作品を展示「書香の森」
 文学部のエントランスにある「書香の森」では、教員の著書が展示されており、興味のある本はすぐ近くの文学部図書室で借りることができます。北海道大学が収集・保管している美術作品の企画展示や読書会も開催され、気軽な情報交換にも活用できるスペースです。

ウェブ版「書香の森」
 書香の森に展示されている図書と文学部発行の雑誌、企画展示について紹介する場所です。
<https://www.let.hokudai.ac.jp/book/>

2019年度から4コース18研究室に進化 伝統とハイブリッドの学びで究める **人文知のユニヴァース**

体系的な学びで卒業論文執筆を応援

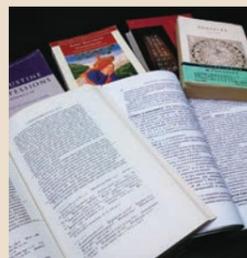
文学部の伝統的な学問分野を基礎とする4コース制にすることにより、中核となる専門分野の学修を進めながら、個々人の問題関心に応じて、他分野や融合分野を学修することができ、卒業論文に向けた体系的な学修ができます。

また1研究室1コース制により、これまで以上にきめ細かく学生の履修指導を行う体制が整備されます。

哲学・文化学コース

Philosophy and Cultural Studies

哲学倫理学、宗教学インド哲学、芸術学、博物館学から構成されています。「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、「人間はいかに生きるべきか」を考究し、人間の精神的な営みの具体的な結果としての文化現象を探求します。



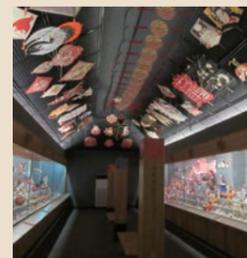
哲学倫理学研究室



宗教学インド哲学研究室



芸術学研究室



博物館学研究室 **NEW**

歴史学・人類学コース

History and Anthropology

世界の諸地域諸民族の社会と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法によって学ぶことを課題としています。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。



日本史学研究室



東洋史学研究室



西洋史学研究室



考古学研究室



文化人類学研究室 **NEW**

学びの特徴

一人ひとりの探究心を細やかに応援しています。

- コースの定員はなく、希望通りのコースを選択できます。
- 授業選択の自由度が高い柔軟なカリキュラムです。
- コースの途中変更も可能です。
- 学びの集大成（卒業論文）執筆の達成感が味わえます。



言語・文学コース

Linguistics and Literature

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。ことばの歴史と仕組みを時代・地域で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を言語・映像・情報で分析するという研究を学びます。



欧米文学研究室



日本古典文化論研究室



中国文化論研究室



映像・現代文化論研究室



言語科学研究室

人間科学コース

Human Sciences

人間の行動や社会の仕組みを、収集したデータの分析に基づき、実証的視点から理解することを目的としています。心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などの科目があり、実験やフィールド調査の手法について体系的に学びます。



心理学研究室



行動科学研究室



社会学研究室



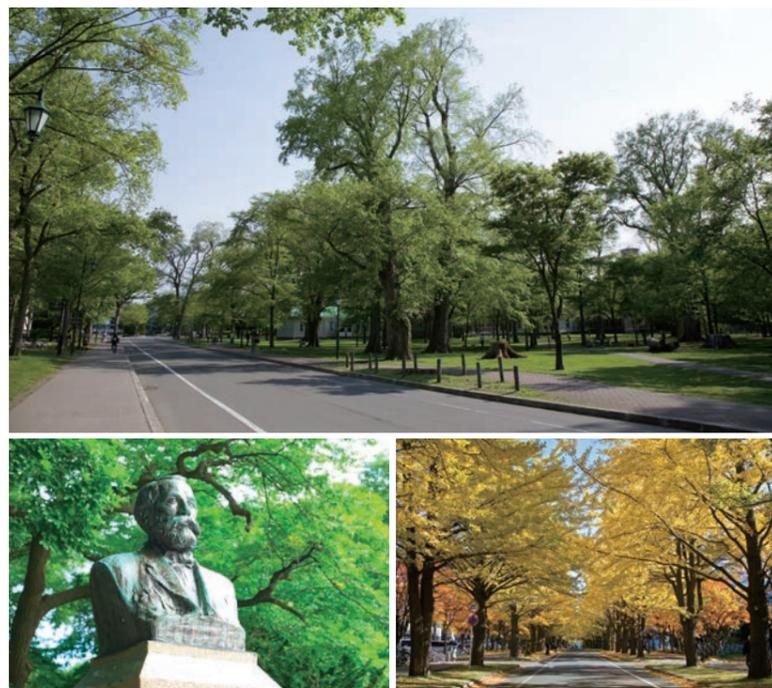
地域科学研究室

※ **NEW** 2019年度から新設された研究室。

広大な緑のキャンパスで学ぶ のびやかに成長できる文学部の4年間

北海道大学文学部の履修の流れ

- 1年次
1年生全員が総合教育部に所属
幅広い教養と外国語の基礎を習得
- 2年次
文学部に進級、コースと研究室を選択
専門研究の入口に立つ
- 3年次
取り組みたい研究テーマを絞り込み
希望者は2～4年次に留学の機会も
- 4年次
指導教員の細やかな指導のもと
学びの集大成「卒業論文」を執筆



北大ならではの魅力 恵まれた 学びの環境



一大グリーンキャンパス 「エルムの森」

北大はJR札幌駅まで徒歩圏内、地下鉄も好アクセスのロケーション。緑のキャンパスライフは生涯の思い出に。



学びに必要な資料を提供 附属図書館・文学部図書室

北大の総蔵書数は約383万冊。文学部図書室は図書約29万冊、雑誌数約5100種を豊富に取り揃えています。



文学部学生用PC室で レポート作成や就活も

文学部生なら誰でも利用可能、学部にしっかりPC室を確保。「時間を有効に使える」と好評です。



奨学金や留学制度も充実 多彩な支援で学生生活を応援

北海道大学はさまざまな場面で学生生活を多角的にサポート。みなさんのチャレンジを応援します。



研究室で深まる信頼関係 生涯の友と出会う研究室

一生モノの出会いが待つ研究室は心身ともに“居場所”となる空間。旅行や北大名物「ジンバ」など研究室独自の行事も充実!

キャンパスカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入学前					●オープンキャンパス					●入学入試 センター試験	●一般入試前日程	●前期日程合格発表 ●一般入試後日程・合格発表	入学前	
1年次	●入学式 文学部は1～4組に、文系総合は14～15組に所属。 ●履修登録 指定された単位を修得するように選択登録。毎年4月と10月に行う。		●大学祭 クラス・サークルごとの模擬店やさまざまなイベントがもりだくさん。 			●第1回履修コース説明会 4コースの説明を聞いた上で、各研究室を実際に訪問。自分の関心と合うかどうかを検討し始める。						●第2回履修コース説明会 コースと研究室を絞り込む。	●文学部移行・コース確定 全員が希望コースへ。	1年次
2年次	●2年次進級式・ガイダンス 文学部での学生生活の始まり。学修に関するガイダンスが開かれる。				夏休み(8月中旬～9月末)	●合宿 研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。				冬休み(12月下旬～1月上旬)		●第2回大学院進学説明会	●文学部移行・コース確定 全員が希望コースへ。 春休み(2月中旬～3月末)	2年次
3年次			●第1回大学院進学説明会			●合宿 研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。		●就職ガイダンス 就職に関する情報を得るガイダンス。 						3年次
4年次	●卒論指導教員の決定		●教育実習 教員免許を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。	●博物館実習 学芸員資格を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。		●大学院入試(前期)		●卒論題目届を提出 指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。論文作成もいよいよ追い込みへ。		●卒論提出		●大学院入試(後期)	●卒業決定者発表 ●学位記授与式 学位「学士(文学)」を授与。 ●卒業祝賀会 文学部同窓会主催。	4年次

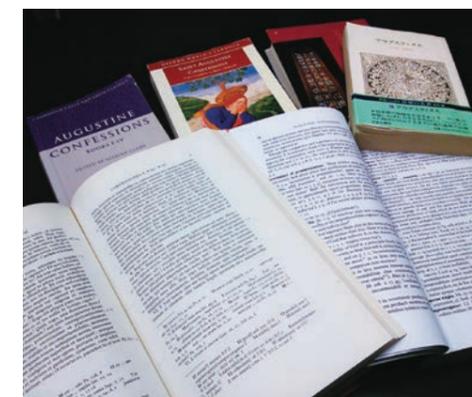
哲学・文化学コース

Philosophy and Cultural Studies



人間の精神と、 その営みの本質に迫る。

哲学・文化学コースは、哲学、倫理学、宗教学、インド哲学・仏教学、芸術学、博物館学といった専門分野から、思想と文化の根源に迫ります。古代から現代までの人類の思索の跡をたどりながら、「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、人類の普遍的なテーマである「人間はいかに生きるべきか」を考究していきます。さらに人間の精神的な営みによって創造された具体的な結果としての文化現象を探求します。



哲学倫理学研究室

長い歴史をもつ哲学・倫理学の知を学ぶと共に、現代世界に差し迫った思想的諸問題について考えていきます。



宗教学インド哲学研究室

新約聖書学、宗教学、死生学、仏教学などに関連する事柄について深く学ぶことができます。



芸術学研究室

ひとつの芸術作品に織り込まれている思想、歴史、他者との関係、個人の心情など多様な要素を読解することが芸術学の課題です。



博物館学研究室

ミュージアム（博物館・美術館・動植物園など）の歴史とあるべき姿を、コレクションとマネジメントの調査から探求して行きます。

教員から

生の営みの源泉に触れる —太古から連綿と続く文化の宇宙へ

哲学倫理学研究室 田口 茂 教授

思想・宗教・芸術などというと、「食っていく」ことからは最も縁遠い分野のようにも思えます。しかし、本当にそうなのでしょうか。むしろ、これらのものこそ、私たちが「生きていく」ためのよすがなのではないでしょうか。「思想などいらない」というのもまた思想です。どん底の状態、芸術や宗教や哲学に「生かされた」という経験をもつ人は枚挙に暇がありません。歴史上無数の人たちが「生かして」きたこれらの営みに、大学時代の貴重な一時期を捧げてみませんか。何らかの意味と程度において、これからの一生の糧になることは間違いないでしょう。



先輩から

「宗教」や「倫理学」の興味関心を深める

哲学・文化学コース 3年生 菊池 有紀乃 さん

みなさんは、人間の行動様式や考え方、価値観などを知らず知らずのうちに形成し、ある種基盤のようなものとして存在する側面のある「宗教」に興味がありますか。善い生き方について考えてみると、「倫理学」に関心を持ったことはありますか。私が哲学・文化学コースを選んだのは、そのような興味関心に、本コースがピンポイントで対応していると感じたからです。本コースでは哲学や倫理学、宗教学といった分野を中心に履修することができ、自分の興味のあることを中心に深く学ぶことが可能です。私は現在、宗教の歴史や宗教が人々・社会に与えてきた影響について学んでいます。宗教に関する学問は私の想像以上に多岐にわたっており、学んでいく中で新しい興味が生れます。それがとても楽しく、この学びの環境にとっても感謝する日々です。みなさんも、自分の興味に対して学びを深められる哲学・文化学コースで、大学生活を送ってみませんか。



研究室・教員・卒業論文テーマ

哲学倫理学研究室

蔵田 伸雄 教授 KURATA Nobuo
■研究分野
応用倫理学、現代英米倫理学、西洋近現代哲学(特にカント)

田口 茂 教授 TAGUCHI Shigeru
■研究分野
西洋近現代哲学(特に現象学)、近代日本哲学、意識の科学

近藤 智彦 准教授 KONDO Tomohiko
■研究分野
古代ギリシア・ローマ哲学、倫理学

佐野 勝彦 准教授 SANO Katsuhiko
■研究分野
非古典論理、哲学的論理学

村松 正隆 准教授 MURAMATSU Masataka
■研究分野
近現代フランス哲学、近現代倫理学

野村 恭史 助教 NOMURA Yasushi
■研究分野
現代分析哲学

【卒業論文テーマ例】

- 自律に関する考察—関係の自律の検討および生命倫理学への接続—
- ビュロン主義者は整合的に生きられるか
- バタイユと文学—バタイユにおける内的体験と詩—
- 自己決定という観点からの代理出産可否の検討
- Floridiの情報的構造実在論における存在論的コミットメント
- 自己愛について
- ロボットの道徳的行為者性について—ロボット共生社会のあり方を考える—
- アウグスティヌスの言語理論
- 和辻哲郎の全体性の概念
- フッサール現象学における道徳への問い

宗教学インド哲学研究室

佐々木 啓 教授 SASAKI Kei
■研究分野
新約聖書学、宗教学

林寺 正俊 准教授 HAYASHIDERA Shoshun
■研究分野
仏教学、仏教思想史

宮嶋 俊一 准教授 MIYAJIMA Shunichi
■研究分野
宗教学、死生学

【卒業論文テーマ例】

- スピリチュアリティから見る現代の宗教性
- 清沢満之の思想
- 龍樹「中論」の研究
- ヒュームの宗教論
- 現代における巡礼の聖俗二元論的考察
- 神仏習合の研究—「麗気記」と「倭姫命世記」を中心として—

芸術学研究室

北村 清彦 教授 KITAMURA Kiyohiko
■研究分野
美学、芸術解釈学

谷古宇 尚 教授 YAKOU Hisashi
■研究分野
西洋美術史(イタリア美術史)

浅沼 敬子 准教授 ASANUMA Keiko
■研究分野
現代美術史

【卒業論文テーマ例】

- ナスカ文化の土器における画像「人間型の神話的存在」の変遷とその意味の変化について
- 浦上玉堂に対する評価の変遷
- フランティシェク・クプカの創造
- コム・デ・ギャルソンの空間デザイン
- 奈良美智作品における人形の意味
- オディロン・ルドン作 フォンフロワド修道院図書室装飾画についての一考察

博物館学研究室

佐々木 亨 教授 SASAKI Toru
■研究分野
博物館学、文化人類学

鈴木 幸人 准教授 SUZUKI Yukito
■研究分野
日本美術史、博物館学

今村 信隆 特任准教授 IMAMURA Nobutaka
■研究分野
美術批評史、博物館学

山下 俊介 助教 YAMASHITA Shunsuke
■研究分野
アーカイブズ学、博物館学

【卒業論文テーマ例】

- 絵金の芝居絵屏風についての考察
- フォントが展示解説パネルの文章に及ぼす影響に関する研究—可読性と判読性を基準に—
- アイヌ文化展示における共同作業の現状と今後の課題
- アイヌ民族に関する法律の変遷と新たな法律に求められる方向性について—海外先住民における事例と比較して—

コースの授業例

古典から現代までの文献を講読して
思想と文化についてとことん考え抜く一週間。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			博物館概論 博物館の機能と社会	博物館教育論 博物館教育論	
2	哲学 チューリングの思考を辿る	倫理学演習 応用倫理学の諸相	宗教学演習 宗教学基礎文献講読	哲学概論 問題群と基礎的諸概念	芸術学 聖堂・修道院と美術
3				ミュージアム・スタディーズ概論 美術展覧会の諸相	
4	宗教学概論 宗教学の基礎理論	倫理学 現象学の展開	哲学演習 西洋哲学史基礎演習	西洋哲学史概説 近現代哲学史	
5			仏教学概論 仏教学入門		

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ プラトン、デカルト、カントなど西洋哲学史の基礎文献を読む。学生の問題提起によって講読が発展することも。[哲学演習]



▲ 宗教学の欧文文献を講読。少人数の演習では学生も積極的に発言する。[宗教学演習]



▲ 画像資料も活用しながら、美術作品を宗教・歴史・社会的文脈から考察。[芸術学]



▲ この2単位を含め、所定の19単位を修得し卒業すると学会員資格がとれる。[博物館概論]

歴史学・人類学コース

History and Anthropology



人類の歴史を学び、現代世界を理解する

歴史学・人類学コースは、世界のさまざまな地域に暮らす民族の社会と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法を通して学んでいきます。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。



日本史学研究室

古代・中世・近世・近現代のスタッフが揃い、研究テーマは自由に選ぶことができます。時代別の自主ゼミも活発です。



東洋史学研究室

中国（漢字文化圏）と中東イスラーム地域（アラビア語・ペルシア語・トルコ語文化圏）の歴史を研究しています。



西洋史学研究室

古代から現代にいたる時代のヨーロッパの歴史、およびアメリカの歴史を様々な視点から広範囲に研究します。



考古学研究室

考古学は遺物や遺跡の研究によって、文字以前の歴史、文字に記録されなかった歴史を人類史として再構成します。

教員から

歴史の研究は史料から —自らの手で問題を解き明かす喜び

日本史学研究室 小倉 真紀子 准教授

皆さんがよく知っている著名な文献や資料の中にも、未知の事柄はまだ多く残されています。また、現在の私達が動かし難い史実だと思い込んでいる事柄の中にも、よく調べてみると、後世の人々が思い描いた推測に過ぎないものもあります。過去の歴史を振り返りながらそのような問題を見つけ、先人の残した史資料をつぶさに検証し、今の私達が持っている歴史認識を、あるいは追認し、あるいは修正する。それが、私達が日々行っている歴史学・人類学研究の基本的な道筋です。今まで誰も解決できなかった問題にも時として遭遇しますが、それを自分の力で解き明かした時の喜びは格別です。



文化人類学研究室

この地球の上で人類は多様な文化を形作ってきました。文化人類学では文化多様性を研究者が現場に身をおきながら明らかにします。

先輩から

歴史の深い学びから、現在と未来を考える

歴史学・人類学コース 3年生 太田 早織 さん



もともと近代ヨーロッパ史に興味があったことから、歴史学・人類学コースを選びました。最初は歴史が好き、ヨーロッパが好きというようなちょっとした動機でしたが、本コースで歴史学やヨーロッパ史について深く学ぶうちに、その面白さに夢中になっていきました。現在私は、近現代ヨーロッパ史やアメリカ史、歴史学そのものについて学んでいます。歴史を学ぶことは、現在と未来の私たちの諸問題を照らし出し、それらについて考える一助となることが興味深いと感じています。研究室には熱心に学ぶ学生が多く、お互い切磋琢磨しながら学習することができ、学ぶのにたいへんよい環境です。

歴史学や人類学を学ぶことで、世界の見え方が変わります。政治や経済、社会構造や文化というような大きな枠組みから、日常の些細な出来事まで、新たな発見のひとつとなる歴史学・人類学を学びたい方に、本コースをおすすめします。

研究室・教員・卒業論文テーマ

日本史学研究室

- 権 錫永 教授 *KWEON Seok-Yeong*
■ 研究分野
日本近代思想史、植民地朝鮮文化史
- 白木沢 旭見 教授 *SHIRAKIZAWA Asahiko*
■ 研究分野
日本近現代史、日本経済史
- 谷本 晃久 教授 *TANIMOTO Akihisa*
■ 研究分野
日本近世史、北海道地域史
- 小倉 真紀子 准教授 *OGURA Makiko*
■ 研究分野
日本古代史、土地制度・財政史
- 川口 暁弘 准教授 *KAWAGUCHI Akihiro*
■ 研究分野
日本近代史、明治憲法史
- 橋本 雄 准教授 *HASHIMOTO Yu*
■ 研究分野
日本中世史、東アジア海域史
- 井上 敬介 助教 *INOUE Keisuke*
■ 研究分野
日本近代史、政治史、北海道史

【卒業論文テーマ例】

- 平安時代における牧の経営
- 満洲国の国家構造
- 天明期の松前藩財政と場所請負制の転換
- 近代日本の海軍大学校と将校団
- 宝暦度朝鮮通信使と日朝交渉の実態
- 中世における音楽官司別当職の機能と役割について
- 朝河貫一「日本の禍機」に関する研究
- 日本古代における即位儀礼の変遷
- 戦後北海道開発体制の成立
- 貿易都市長崎における遊女と異国人
- 中世における孟蘭盆会と施餓鬼会
- 文化政治期における朝鮮教育改革

東洋史学研究室

- 太田 敬子 教授 *OHTA Keiko*
■ 研究分野
中東社会史
- 吉開 将人 教授 *YOSHIKAI Masato*
■ 研究分野
秦漢史、中国近現代史、中国民族問題
- 佐藤 健太郎 准教授 *SATO Kentaro*
■ 研究分野
中東イスラーム史(特に西地中海地域)

【卒業論文テーマ例】

- 19世紀前半カスピ海におけるロシア・イラン貿易
- 「蒙疆政権」の教育政策
- 五胡北朝期胡族政権における漢族有力者の擡頭
- 三藩の乱と清初地域社会
- 9世紀アッバース朝におけるグラームの忠誠と離反
- 近代日本人ムスリムの巡礼

西洋史学研究室

- 砂田 徹 教授 *SUNADA Toru*
■ 研究分野
古代ローマ史
- 長谷川 貴彦 教授 *HASEGAWA Takahiko*
■ 研究分野
近現代イギリス史、歴史理論
- 松島 明男 教授 *MATSUSHIMA Akio*
■ 研究分野
近代フランス史
- 村田 勝幸 教授 *MURATA Katsuyuki*
■ 研究分野
アメリカ史、アメリカ研究
- 山本 文彦 教授 *YAMAMOTO Fumihiko*
■ 研究分野
ドイツ中世・近世史

【卒業論文テーマ例】

- 三十年戦争とハンブルク
- 20世紀イギリスの女性解放とサーヴァント
- 1640年のカタルーニャ反乱
- サトゥルナリアとアウグストゥスの宗教政策
- 属州シリアにおける軍隊と市民の諸関係
- 20世紀フランス領アルジェリアにおける原住民教育とナショナリズム
- イギリスにおける第一次世界大戦の記憶
- 米国における移民管理をめぐる連邦政府と州の関係性
- 現代アメリカにおける同性婚をめぐる攻防

考古学研究室

- 小杉 康 教授 *KOSUGI Yasushi*
■ 研究分野
考古学、物質文化論、民俗考古学
- 高瀬 克範 准教授 *TAKASE Katsunori*
■ 研究分野
考古学、植物考古学
- 江田 真毅 准教授 *EDA Masaki*
■ 研究分野
動物考古学、文化財科学
- 高倉 純 助教 *TAKAKURA Jun*
■ 研究分野
考古学、文化財科学

【卒業論文テーマ例】

- 土器型式分布域の拡大・縮小についてー北海道石狩低地帯及び周辺における縄文前期前半を対象としてー
- 縄文文化の土偶造形研究におけるジェンダー観について
- 石錘の機能と用途ー北海道西部における縄文早期から中期にかけてー
- 涌元式土器の研究 一館野遺跡出土資料の分析を通してー

文化人類学研究室

- 小田 博志 教授 *ODA Hiroshi*
■ 研究分野
人類学、平和研究、自然一人間関係、生命論、エスノグラフィー論
- 山口 未花子 准教授 *YAMAGUCHI Mikako*
■ 研究分野
人類学、自然誌、動物論、狩猟研究、北米先住民研究

【卒業論文テーマ例】

- 札幌市におけるムスリムの食実践
- 公共空間としてのゲストハウス
- 「隣人」ヒグマと生きる
- 日本に居住するイスラエル人・ディアスポラのエスノグラフィー

コースの
授業例

世界各地、各時代を構成する人々の営みを
史資料を通して追求する。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	日本史学演習 近代日本の歴史と文化	日本史学概論 日本史学研究法	日本史学 近世日本社会論	東洋史学 中国・ベトナム関係史	日本史学 平安時代の文書と社会
3	東洋史学演習 東洋史学論文講読演習	西洋史学演習 ドイツ中近世史	考古学概論 理論と方法	西洋史学 アメリカ社会文化史の世界	
4	漢文漢籍学 漢文漢籍学	考古学 東北アジア考古学特論	文化人類学概論 人類学の視点	西洋史学 文化史研究の射程	
5					

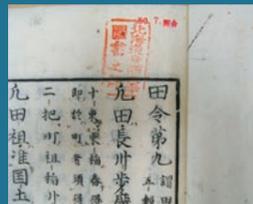
※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ 考古学の理論と方法を学ぶ。
[考古学概論]



▲ 18～19世紀の中国・ベトナム関係史を、グエン朝成立史を中心に講義する。
[東洋史学]



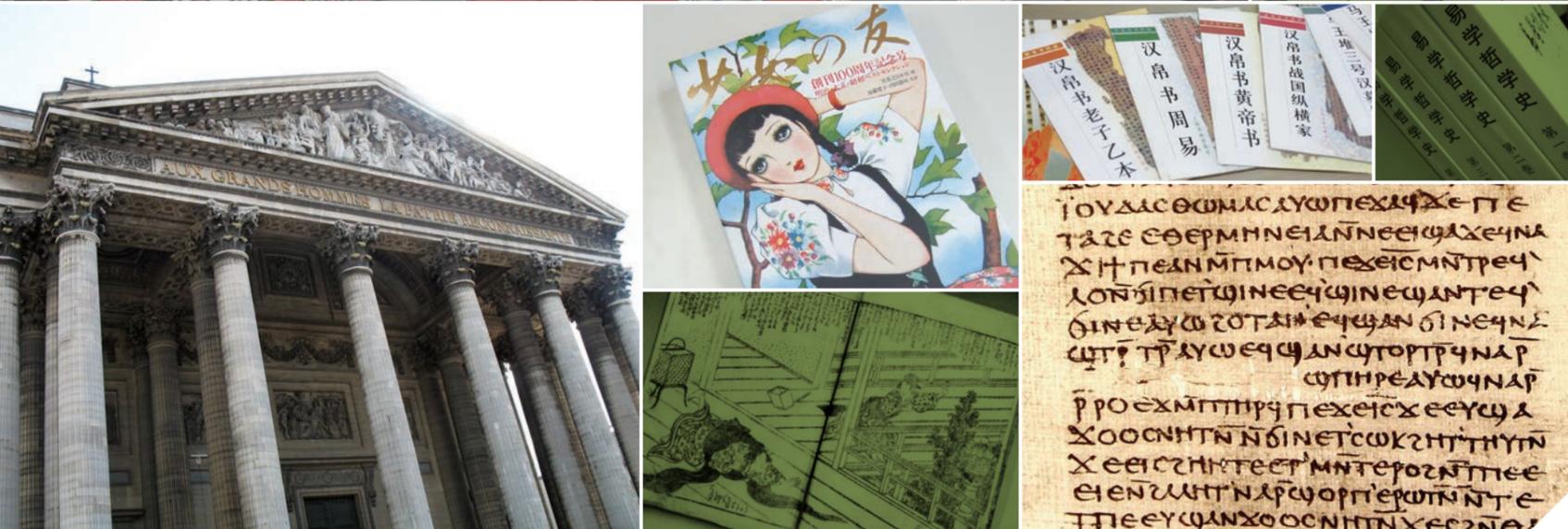
▲ 平安時代の文書を読み解く技術と、文書を通してわかる初期荘園などの実態を学ぶ。
[日本史学]



▲ 「文化」概念の変遷に注目しながら、19世紀から現在にいたる文化史研究の軌跡を描く。
[西洋史学]

言語・文学コース

Linguistics and Literature



ことばを通して 人間を理解する

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。言語・文学コースでは、ことばの歴史と仕組みを時代（古典から現代まで）・地域（日本・中国・西洋）で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を各種メディア（言語・映像・情報）で分析する授業が展開されます。



欧米文学研究室

西洋古典文学・フランス文学・ロシア文学・英語圏文学を読みながら、語学だけでなく広く文化表象を読み解きリテラシーを高めます。



日本古典文化論研究室

上代・中古・中世・近世の文学および文化を対象とし、多様な視点から理解をめざします。



中国文化論研究室

中国の思想、言語、文学などをはじめ、中国および漢字文化圏に関する幅広いテーマを学習・研究することができます。



映像・現代文化論研究室

日本の近代・現代の文学全般、日本および世界の映画を中心として、広く現代の映像・表象・思想を理論的・具体的に追究します。



言語科学研究室

言語の科学としての言語学の方法論で、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、朝鮮語、アイヌ語、日本語などを深く学びます。

教員から

まだ誰も行ったことのない
〈ことば〉の大海原に船出してみよう

中国文化論研究室 武田 雅哉 教授

このコースは、人類が生みだしたさまざまな言語、また、それらの言語を用いて綴られてきた、思索の書や、小説に詩、さらには映画、アニメ、漫画などまで、広い意味での「言語」と「文学」について学ぶところです。大好きな作家の研究をしても、もちろんいいし、まったく面白いと思わない作品について、どうして面白くないのかを考えるのも、じつはなかなか面白いことかもしれません。迷路のような〈ことば〉の世界に深く分け入り、心から面白いと思うような、自分だけの宝物を探す船旅に出してみませんか。私たち教員は、その善き水先案内人たらんと、みなさんをお待ちしています。



先輩から

「言語学」の学びが人間の理解につながる

言語・文学コース 3年生 村松 樹理央 さん



大好きな「言語」を学びたいと思い、言語・文学コースを選びました。現在は、普段何気なく使っている言語の構造にみられる様々な法則について学んでいます。例えば英語では「He isn't kind.」は正しいのに、「He goesn't to school.」とはなぜ言わないのか。言語学はこのような問いに科学的なアプローチで答えます。授業には、言語の構造を学ぶ統語論や、言語の持つ意味的側面を研究する意味論など、言語学の学びに重要な知識を得られるものが多くあります。加えて、文化人類学と関わる民族言語学や病理学と関わる神経言語学など、横断的な研究を学ぶ授業もあります。授業選択の自由度が高いので、国文学や英米文学の授業を選択することも可能です。

言語や文学を解明することは人間そのものを理解することにつながります。本コースは言語や文学が好きな人はもちろん、人の営みについて学びたいという人にピッタリだと思います。

コースの授業例

ことばの歴史と仕組みに向き合いながら探求したい文学研究を盛り込む事も可能。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			日本文学演習 日本探偵小説研究		
2		国語学演習 社会言語学研究	言語学概論 言語学の基礎	西洋文学 古代ラテン語文法	日本文学史概説 物語文学史
3	国語学 現代日本語文法の諸問題	西洋言語学演習 フランス語構文研究		国文学 現代文章の研究	
4		西洋文学 翻訳で読むロシアの短編小説	中国文学史概説 中国の奇譚と図像		
5			英語学概論 英語の歴史	言語学演習 意味・統語論の基礎	

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲緊張感あふれる演習でフランス語の読解力が向上。
[西洋言語学演習]



▲ギリシア語・ラテン語を習得すると、何を学ぶにも深みが増す。
[西洋文学]



▲吉本隆明「言語美」を満きに、現代の自己表出を考える授業。
[国文学]



▲日本文学史の流れを通時的に概観する授業。
[日本文学史概説]

研究室・教員・卒業論文テーマ

欧米文学研究室

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 大西 郁夫 教授 ONISHI Ikuo
■ 研究分野
ロシア文学 | 瀬名波 栄潤 教授 SENAHA Eijun
■ 研究分野
英米文学、英語圏文学、ジェンダー・セクシュアリティ研究 | 竹内 修一 教授 TAKEUCHI Shuichi
■ 研究分野
フランス現代文学 | 竹内 康浩 教授 TAKEUCHI Yasuhiro
■ 研究分野
アメリカ文学 |
| 戸田 聡 准教授 TODA Satoshi
■ 研究分野
古典文献学、古代キリスト教史 | グリューネヴァルト マティアス 特任准教授 GRÜNEWALD Matthias
■ 研究分野
外国語としてのドイツ語教授法、社会学 | 宮下 弥生 助教 MIYASHITA Yayoi
■ 研究分野
Shakespeare劇、物語理論、中世英文学 | |

【卒業論文テーマ例】

- エイミ・タンの『ジョイ・ラック・クラブ』における異質なもの
- アレクサンドル・グリーン論
- アンドレ・ジッド『狭き門』と日本
- ストーンウォール改編-ポスト「ニュー・クワイア・シネマ」と新装真実の政治学-
- アルペール・カミュ『異邦人』における時制表現
- エドガー・アラン・ポー「アッシャー家の崩壊」における語り手の狂気
- 「男にならねば」-「マクベス」に描かれた
- ルネッサンスを生きる男たち-
- 結婚の不安-チャールズ・ディケンズ作『The Pickwick Papers』における異性愛規範とジェンダー本質主義-
- アンドレイ・クルコフの『ペンギンの憂鬱』について
- アンドレ・ブルトン『現行犯』について

The Pickwick Papers をイタリックに

日本古典文化論研究室

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 金沢 英之 教授 KANAZAWA Hideyuki
■ 研究分野
上代文学 | 後藤 康文 教授 GOTO Yasufumi
■ 研究分野
平安時代物語文学 | 富田 康之 教授 TOMITA Yasuyuki
■ 研究分野
近世演劇 | 野本 東生 准教授 NOMOTO Tosei
■ 研究分野
中世説話文学 |
|--|--|--|--|

【卒業論文テーマ例】

- 『信西日本紀抄』の研究
- 『和泉式部日記』考
- 『土佐日記』考
- 『百人一首改観抄』の研究
- ミソギの研究
- 『古事記』における神と光について
- 『とりかへばや』研究
- 『とはずがたり』考

中国文化論研究室

- | | | |
|---|--|---|
| 近藤 浩之 教授 KONDO Hiroyuki
■ 研究分野
中国古代理想、易学思想史 | 武田 雅哉 教授 TAKEDA Masaya
■ 研究分野
中国文化、文学、芸術 | 弥 和順 教授 YUHAZU Kazuyori
■ 研究分野
中国古代学術思想 |
|---|--|---|

【卒業論文テーマ例】

- 『金瓶梅詞話』における女性と飲酒
- 『墨子』における鬼神について
- 伊藤仁斎「大学定本」について
- 中国における眼の力
- 孫武と孫臏の比較研究
- 『荀子』性悪説に関する研究

映像・現代文化論研究室

- | | | |
|---|--|---|
| 阿部 嘉昭 教授 ABE Casio
■ 研究分野
映画・サブカルチャー研究、詩歌論 | 応 雄 教授 YING Xiong
■ 研究分野
映像表象論 | 押野 武志 教授 OSHINO Takeshi
■ 研究分野
日本近代文学、表象文化論 |
| 中村 三春 教授 NAKAMURA Miharu
■ 研究分野
日本近代文学、比較文学、表象文化論 | 小川 佐和子 准教授 OGAWA Sawako
■ 研究分野
映画史、音楽劇研究 | 水溜 真由美 准教授 MIZUTAMARI Mayumi
■ 研究分野
近現代日本思想史、ジェンダー論 |

【卒業論文テーマ例】

- エドガー・G・ウルマー映画研究
- サム・ベキンバー映画論
- 映画における階段の表象
- セカイ系文化論
- 「私」とは誰か? - 寺山修司論
- 映画における学校の空間表象
- 小説の映画化について
- 黒沢清『CURE』論
- 現代妖怪キャラクター論
- 筒井康隆の実験的小説研究
- 少女マンガの男性キャラクター分析
- 夢野久作『瓶詰の地獄』論

言語科学研究室

- | | | |
|--|---|---|
| 池田 証壽 教授 IKEDA Shoji
■ 研究分野
国語学、国語史 | 加藤 重広 教授 KATO Shigehiro
■ 研究分野
言語学、日本語学、語用論 | 佐藤 知己 教授 SATO Tomomi
■ 研究分野
言語学、アイヌ語、北方言語 |
| 清水 誠 教授 SHIMIZU Makoto
■ 研究分野
ドイツ語学、ゲルマン語学 | 野村 益寛 教授 NOMURA Masuhiro
■ 研究分野
英語学、認知言語学、意味論 | 藤田 健 教授 FUJITA Takeshi
■ 研究分野
フランス語学、ロマンス語学、統語論 |
| 李 連珠 准教授 LEE Yeonju
■ 研究分野
韓国語学、言語学、日本語学、音声学 | 菅井 健太 准教授 SAGAI Kenta
■ 研究分野
ロシア語学、スラブ語学 | 藤本 純子 助教 FUJIMOTO Junko
■ 研究分野
ドイツ語教授法、異文化コミュニケーション |

【卒業論文テーマ例】

- have got to/gottaにおける文法化と頻度の関係性
- 慣用句における身体部位詞の意味拡張についての日英対照研究
- ロシア語におけるオノマトペの音象徴に関する考察
- スペイン語におけるアラビア語借用の分析
- 日向方言における若者ことば
- 高山寺本『類聚名義抄』の翻刻と観智院本『類聚名義抄』との比較-一部-
- ジョージア語における能格の出現条件について
- 日本語の願望・意志表現についての分析 - 「たい形」と「非たい形」の比較を中心に -
- ドイツ語の進行形表現について
- 「好き／嫌い」に関する表現の日英対照研究
- awayを含む動詞の多義性の分析
- フランス語と英語の場所を表す前置詞に関する対照研究
- 四字熟語に関する研究 - 数字を含む四字熟語を中心に -
- フランツ・カフカ『変身』の翻訳作品に関する比較研究
- 方言話者としての自方言らしき-青森県津軽方言を例に -
- 韓国語の経験を表す表現について

人間科学コース

Human Sciences



人間の行動や 社会のしくみを解き明かす

人間の行動や社会の仕組みを、収集したデータの分析に基づき、
実証的視点から理解することを目的としています。

心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などに
関連する多彩な科目が用意されているほか、
実験、調査、研究方法などは必修となっており、
社会と心の実態に迫るための手法を身につけます。



心理学研究室

実験・調査によって収集したデータの分析に基づいて、人間の行動や、それを司る脳機能の仕組みを、実証的視点から学びます。



行動科学研究室

社会心理学・進化心理学・文化心理学・行動経済学・神経科学・比較認知科学などを通じて、人や動物の心と社会との関わりを学びます。



社会学研究室

社会の仕組みとその変化を、個人との関係から読み解いていくのが社会学で、その方法（聞き取りや大規模調査など）も学びます。



地域科学研究室

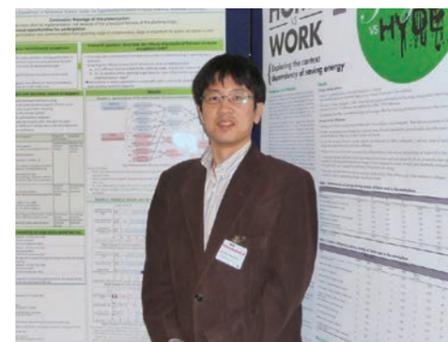
地域社会学・人文地理学・社会生態学という分野をベースに、フィールドワークを主体として多様な地域問題への対応を学びます。

教員から

人と社会の相互関係を学ぶなら、
日本ではダントツの教育研究環境

行動科学研究室 大沼 進 教授

人と社会の相互関係を理解することは、人文・社会科学の究極の目標の一つといえます。人間科学コースでは、社会心理学、心理学、社会学、地理学、社会生態学、地域科学、認知科学、行動科学など、人と社会の関係に関する実証研究の最先端を学べます。このコースを担う研究室は、ここ10年余で文科省が推進する多くの主要な大学院教育改革プログラム（21世紀COE、グローバルCOE、卓越した大学院教育拠点形成など）の拠点として選定され、成功例として高い評価を得てきています。ここにいれば、学部生のうちから、最強のスタッフ陣とともに、単に教科書を学ぶだけでなく、教科書を書き換えるほどの研究活動に加わることができます。



先輩から

社会がいかなるものかを多角的に解き明かす

人間システム科学コース* 4年生 三上 夢仁 さん

人間は日々の中で、特に深く考えることなくいろいろな行動や選択をしています。そうした行為の一つひとつが如何なる要因によって規定されているのかを知りたいと思い、人間システム科学コースを選びました。本コースでは人間や社会について、心理学や行動科学、社会学などさまざまな視点から学習できます。研究対象に対する多様なアプローチ方法を知ることができ、柔軟で価値創造的な研究が可能です。

私は社会学を専攻しています。社会はどこにでも存在します。なぜなら人が他の誰かと出会った瞬間に、一つの社会がそこに生まれるからです。私たち人間が知らず知らずのうちに作り上げ、生きている社会。それが如何なるものかを研究するのが社会学です。社会学の研究では、格差拡大などマクロな現象から、対人関係などミクロな現象まで幅広く扱います。人間という生物は本当に面倒で、相手が何を考えているのかが理解できずに混乱することが皆さんにもあると思います。本コースではそうした困難を解きほぐす、人間を理解する手立てが得られます。人間を知りたい、理解したいと思っている方は是非どうぞ。

*人間システム科学コースは2019年度入学者より人間科学コースに変わりました。



研究室・教員・卒業論文テーマ

心理学研究室

安達 真由美 教授 ADACHI Mayumi
 ■研究分野
 音楽心理学
 (聴取、演奏、感情・表現、コミュニケーション、発達)

川端 康弘 教授 KAWABATA Yasuhiro
 ■研究分野
 認知心理学
 (色覚、感性、知識、熟達)

和田 博美 教授 WADA Hiromi
 ■研究分野
 発達神経行動毒性学

小川 健二 准教授 OGAWA Kenji
 ■研究分野
 認知神経科学
 (特に運動学習や社会認知)

河原 純一郎 准教授 KAWAHARA Jun-ichiro
 ■研究分野
 認知行動科学
 (注意、記憶、魅力、ストレス、産業応用)

森本 琢 助教 MORIMOTO Taku
 ■研究分野
 認知心理学
 (クロスモダルな情報処理過程、記憶、心的イメージ)

【卒業論文テーマ例】

- リズム的な聴覚刺激が視覚的反応動作に及ぼす影響
- ネガティブテンプレートと先行手がかり時間の関係
- 授乳期のアルコール摂取がラットの空間記憶に及ぼす影響
- ネガティブな顔写真と漫画顔への注意バイアス
- 音楽の印象がアマチュアダンサーの表情や動作に与える影響:競技ダンスに焦点を当てて
- 視覚的視点取得と心の理論に共通する神経基盤の検討
- 運動がラットの不安様・うつ様行動に及ぼす予防的効果の研究
- 色彩が見かけ上の軽重感にもたらす影響
- 運動野のニューロフィードバックと自己効力感の関係
- 時間知覚における色刺激の反復効果と順応効果

行動科学研究室

大沼 進 教授 OHNUMA Susumu
 ■研究分野
 環境社会心理学、リスクガバナンス

高橋 伸幸 教授 TAKAHASHI Nobuyuki
 ■研究分野
 社会心理学、実験社会科学

結城 雅樹 教授 YUKI Masaki
 ■研究分野
 社会心理学、文化心理学

高橋 泰城 准教授 TAKAHASHI Taiki
 ■研究分野
 行動科学、神経経済学

瀧本 彩加 准教授 TAKIMOTO Ayaka
 ■研究分野
 比較認知科学

竹澤 正哲 准教授 TAKEZAWA Masamori
 ■研究分野
 社会心理学、適応的意思決定、文化進化論

中島 晃 助教 NAKAJIMA Akira
 ■研究分野
 応用統計学

【卒業論文テーマ例】

- ウマの社会的絆を支える要因に関する検討—同類志向の原理に着目して—
- 群淘汰による協力の進化:空間構造の影響に関するコンピューターシミュレーション
- ネガティブ状況・ポジティブ状況における羞恥の文化差とその原因—比較社会生態学的アプローチによる検討—
- 「あなただからこそ」の信頼は返報性を高めるのか?—一回限りの投資ゲームを用いた実験的検討—
- 利害の異なるステークホルダーの共通目標共有化を通じた合意形成過程—風力発電交渉ゲームを用いた検討—
- 未来志向性と環境政策支持:環境配慮行動の関連—第2次札幌市環境基本計画策定過程における調査—
- 身体活動量と遅延報酬の価値や確率・待ち時間の知覚の関係に関する行動経済学的研究
- どのようなサンクション行使者が好まれるのか?—複数の選択肢がある状況での検討—
- 格差を経験すると他者を信頼できなくなるのか?—社会的交換ネットワークを用いた実験的検討—
- 母ウマにおける子ウマへの愛着とオピオイド受容体M1遺伝子多型の関連
- 教育が累積的文化進化に与える影響:コンピューターシミュレーションを用いた検討
- Facebookにおける自己誇示の日米比較—関係流動性を用いた社会生態学的分析—

社会学研究室

櫻井 義秀 教授 SAKURAI Yoshihide
 ■研究分野
 宗教・文化社会学、タイ地域研究、東アジア宗教研究

平澤 和司 教授 HIRASAWA Kazushi
 ■研究分野
 社会学(特に教育、家族、社会階層)

樋口 麻里 准教授 HIGUCHI Mari
 ■研究分野
 社会的排除論、福祉・医療社会学、家族社会学、国際比較

【卒業論文テーマ例】

- シングルマザーは不幸か—主観的ウェルビーイングの規定要因に関する質的研究
- 日本における樹木葬という選択—千葉県袖ヶ浦市真光寺の樹木葬会員への調査から—
- 反抗期のない若者—男子大学生に焦点を絞って—
- 精神疾患の診断と家族関係の変容
- 高齢化社会の中の教会
- 中国農民合作社における統治機構の差異はなぜ生じるのか—34合作社の調査結果を用いて—

地域科学研究室

池田 透 教授 IKEDA Tohru
 ■研究分野
 保全生態学、外来種管理、野菜動物管理学

橋本 雄一 教授 HASHIMOTO Yuichi
 ■研究分野
 都市地理学、地理情報科学(GIS)

宮内 泰介 教授 MIYAUCHI Taisuke
 ■研究分野
 環境社会学、地域社会学、開発社会学

笹岡 正俊 准教授 SASAOKA Masatoshi
 ■研究分野
 環境社会学、ポリティカル・エコロジー論、インドネシア地域研究

仁平 尊明 准教授 NIHEI Takaaki
 ■研究分野
 人文地理学、農業地理学、地誌学

林 琢也 准教授 HAYASHI Takuya
 ■研究分野
 人文地理学、観光地理学、農村地理学

立澤 史郎 助教 TATSUZAWA Shirou
 ■研究分野
 保全生態学、環境教育論、シベリア地域研究

【卒業論文テーマ例】

- 日本の漁業者による国際水産認証制度活用の現状と今後の展望—北海道産ホタテの事例を中心に—
- 小さな銭湯の存在意義と可能性—銭湯にある「共」的社会関係に着目して—
- 北海道北部における小売環境に関する地理学的研究
- 小樽市の津波および土砂災害に関する防災と課題
- 野宿をすること、続けること—元野宿者Aさんのライフストーリー研究—
- 小水力発電が地域に果たす役割とその展望—北海道富良野市麓郷の事例から—
- 絶滅危惧種の新たな個体群確立における地域住民の役割に関する一考察
- 野生生物の保護と管理に関する社会生態学的研究
- GPSテレメトリデータによるアライグマのハビタット解析
- 天然記念物の現状と課題—九州北部におけるカササギ(Pica pica)の事例から—
- 北海道十勝地方におけるグリーンツーリズムの展開
- 起業を伴う農村への移住行動に関する研究

コースの授業例

実験や調査、データ解析を通じて課題を解明。文献読解やプレゼンでコミュニケーション力もUP。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2		心理学概論 心理学における基本的問題	心理学研究法 心理学のためのデータ解析	社会学演習 格差への社会的アプローチ	
3	行動科学実験実習 行動科学のための基礎実験	認知科学 文化心理学概説	地域科学演習 空間情報と地理学	認知心理学 身体性に基づく認知と社会認知神経科学	社会生態学 保全生態学概論
4	「心理学実験実習」・「社会調査法実習」・「野外調査法実習」のように、各専門分野で実習がある。(必ずしも4コマ続きとは限らない)	基礎心理学 知覚心理学の基礎	心理学演習 心理学文献基礎講読		
5					

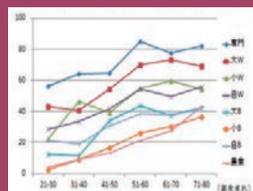
*上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ 行動科学関連諸分野の主要な研究テーマと研究方法の概要を学ぶ。[行動科学実験実習]



▲ 心の動きと脳の仕組みについて考える。[認知心理学]



▲ 格差社会の実態をデータに基づいて考える。[社会学演習]



▲ 生物多様性の保全について、人間の視点から学ぶ。[社会生態学]

卒業論文

4年間の学びの集大成



4年次のスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
卒論指導教員の決定		教育実習 教員免許を取得する者のみ対象。 時期は実習先により異なる。	博物館実習 学芸員資格を取得する者のみ対象。 時期は実習先により異なる。		大学院入試(前期)	卒論題目届を提出 指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。 論文作成もいよいよ追い込みへ。		卒論提出	卒論口述試験 試験の内容はコース・研究室で異なる		大学院入試(後期)	卒業決定者発表・学位記授与式・卒業祝賀会 学位「学士(文学)」を授与。

卒業論文への取り組み

他の卒業生の卒業論文への取り組みはウェブサイトでお読みください。

case 01

卒論
テーマ

「自己のための異時点間選択と
他者のための異時点間選択との関係」
についての心理物理学的分析

人間システム科学コース
(平成26年度卒業)
徳田 真佑 さん
(とくだしんすけ)



[テーマを決める]

“この世界に潜む社会科学的な法則を見つけたい”という行動経済学の高橋泰城先生に感銘を受け、指導を仰ぐことに。目先の利益と将来の利益、他者の代わりに選択するときにはどちらを選ぶのか。社会的にも重要なテーマである「社会的異時点間選択」について掘り下げていきました。

[情報を集める]

3年の4月から先行研究を勉強し、11月に質問紙を自作し、北大生24人に回答してもらいました。その後は質問紙のデータ解析と、引き続き先行研究の調査に没頭。行動経済学は新しい分野なので、「これを読めばすべてが書いてある」という決定的な資料がありません。先行研究を整理することで、これまでの流れを把握すると同時に自分の位置づけも見えてきました。一番参考になったのは、やはり高橋先生の先行研究です。異時点間選択とは何か、という言葉の定義もはっきりとした土台を築かれているので、後に続く僕たちもブレずに研究を進められました。

[書き上げる]

4年の5月に大学院入試を受け、6月の教育実習を終えてから執筆は追い込み。先生から「検証しきれなかったアイデアは今後議論していけばいい」と助言をいただき、思いきって推敲していきました。おこがましいようですが、自分では納得の出来。考え出したら止まらなくなるような好きなテーマとその面白さを共有できる先生に出会えたおかげで、充実した卒論執筆の時間を持つことができました。

指導教員
からの評価

行動科学研究室
高橋 泰城 准教授

「行動経済学の中でも世界的な水準の研究テーマを解明した渾身の力作です。今後さらなる研究の発展が期待されます。」

case 02

卒論
テーマ

「近藤七郎の画業について
-北大所蔵美術品調査に基づくモノグラフ-」

哲学・文化学コース
(平成24年度卒業)
野田 佳奈子 さん
(のだかなこ)



[テーマを決める]

学部3年の時に北大に点在する美術品を調べる「北大所蔵美術品調査」が始まり、北大美術部の「黒百合会」の資料を読んでいたところ、札幌農学校出身で画家になった近藤七郎の記載を発見。なぜ画家になったのか、どんな作品を残したかが気になり、調べることに決めました。

[情報を集める]

実地調査は北大の固定資産台帳を調べることからスタート。近藤の作品が農学部研究所に所蔵されていることがわかり、作品の実物を確認しました。同時に、黒百合会の記念誌や大学文書館にある農学部卒業生の名簿、当時の公募展の出品リストや新聞記事などを調べ、北村清彦先生や文書館の方、近藤七郎の三男である近藤氏にも協力していただきながら、その画業と足跡を明らかにしていきました。これまで誰も調べてこなかった近藤七郎について一から調べるやりがいがありました。単なる情報の羅列にならないよう、得た情報を解釈し、まとめていくことに苦労しました。

[書き上げる]

自分なりの視点で研究対象をとらえ、2万字もの文章で表現するのは人生で初めてで、何度も挫けそうになりましたが、多くの時間を費やして研究対象と向き合えたことや、それを支えてくださる先生方や先輩、同期、後輩がいる環境に身を置けたことは、今振り返っても幸せなことだと思っています。これから卒業論文に挑む皆さんも、取り組んでよかったと思える研究対象と出合えるよう、自分の興味・関心と向き合ってみてください。

指導教員
からの評価

芸術学研究室
北村 清彦 教授

「丹念な調査で近藤七郎という全く無名の画家の存在を明らかにしました。その研究は学芸員の職に就いた今、更なる発展が期待されます。」

異文化のレンズを通して日本を相対化する 実践的な外国語力を身につけ、世界という舞台へ

北海道大学の交換留学制度 — 文学部独自の制度も充実 —

北海道大学では、海外の50カ国・地域の196大学等と大学間交流協定を結んでいます(2018年10月現在)。このうち、186大学と「大学間」の学生交流覚書を、また、それとは別に「部局間」の学生交流覚書も締結しています。学生はこれらの協定大学に1学期間あるいは1年間「交換留学」することができます。大学間の場合は、北海道大学の学生全員が対象ですが、部局間の場合は、協定を結んでいる部局の学生が対象となります。文学部では、現在22大学と部局間交流協定を締結しており、このうち12大学と学生交流覚書を取り交わしています。これらの12大学に対しては文学部独自の交換留学制度があります。

交換留学のメリットいろいろ — 授業料不徴収、単位認定、生活相談も —

北海道大学は海外の協定大学との間に「授業料不徴収」の取り決めを結んでいます。「授業料不徴収」とは、北海道大学に授業料を納めれば留学先の大学に授業料を払わなくてすむという制度で、北大よりも高い学費の大学へ留学したい場合は非常に有効です。交換留学であれば、留学先の大学の専門科目を履修することができ、そこで修得した単位が文学部の審査によって帰国後に認定される場合があります。

また大学間交流協定校への交換留学の場合、出願手続きを国際交流課がサポートし、出発前に交換留学生を対象としたオリエンテーションも実施します。留学中もメール等で授業や生活等に関する相談に応じるとともに危機管理に関する情報も提供しています。文学部の部局間交流協定校への留学は、文学部独自の支援が受けられます。一人一人の状況に応じたきめ細やかなフォローで、事前準備から留学中の相談にも対応しています。



文学部が提案部局となっている大学間交流協定校
 アバディーン大学 / アラスカ大学 / イルクーツク大学 / ウィスコンシン大学マディソン校 / ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 / オウル大学 / オクラホマ大学
 オークランド大学 / サハリン国立大学 / ジュネーブ大学 / ソウル市立大学 / タルトゥー大学 / デラサル大学 / 北東連邦大学 / ハワイ大学マノア校
 パイロイト大学 / プカレスト大学 / 北京大学 / 北京師範大学 / ペオグラード大学 / 香港中文大学 / マヒドーン大学 / ミラノ・ビッコカ大学 / ワルシャワ大学

[50音順]



北大文学部から世界へ 世界から北大文学部へ

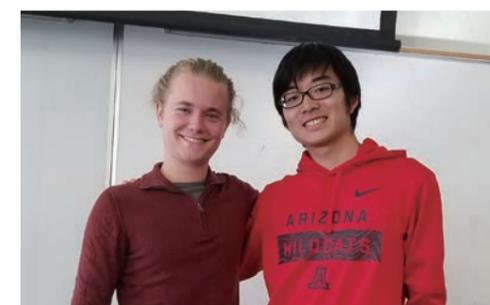
あなたの隣にも留学生が
国際色豊かな北大キャンパス

北海道大学には世界各国から集まった大勢の外国人留学生が学んでいます。留学生との交流プログラムも豊富に用意されており、さまざまな体験を通して国や人種、ことばや文化、宗教などの壁を越えた友情を育むことができます。

文学部や大学院文学院に在籍する各国の留学生たち(26カ国・280名、令和元年5月現在)も、皆さんの大学時代を彩る大切な仲間たち。緑のキャンパスにいながらにして国際交流や異文化コミュニケーションが始まります。

部局間交流協定校 アリゾナ大学 (アメリカ合衆国)

ヨーロッパ・アメリカ文化論コース*留学年次3年
 瀧 優太郎(たき ゆうたろう)さん



そこでしかできない貴重な学びと経験

言語学の専門分野を本場の言語で学習することで、改めて言語学の面白さに気づくことができました。毎時間クラスメイトや教授に質問して努力した甲斐があり、最終的には好成績がとれました。休日には友人とキャンプやL.A.旅行をして、アメリカでしかできないことに挑戦しました。

*ヨーロッパ・アメリカ文化論コースは、2018年度以前の入学向けのコースです。

大学間交流協定校 イーストアングリア大学 (英国)

ヨーロッパ・アメリカ文化論コース*留学年次3年
 和田 哉恵(わだ かなえ)さん



自ら行動を起こすことが留学成功の鍵

留学中に何か問題を抱えたとき、黙っていても誰も気づいてくれません。フラットメイトに聞いたり、大学の窓口へ足を運んだり、自分から行動することがとても大切です。勇気を出して行動してみると、周囲の人たちが親身になってくれて、一人で考えていたより簡単に解決することがありました。

*ヨーロッパ・アメリカ文化論コースは、2018年度以前の入学向けのコースです。

大学間交流協定校 オレゴン大学 (アメリカ合衆国)

人間システム科学コース*留学年次3年
 神明里(じん あかり)さん



外から日本を見つめ直すよい機会に

認知科学、心理学に強いオレゴン大学の授業を通して、卒業論文テーマにつながる関連分野の研究について学ぶことができました。厳しい課題やテストを乗り越える力を身につけ、現地学生とのディスカッションや生活を通して、外から日本や北海道を俯瞰的にとらえる機会がもてたことが大きな収穫です。

*人間システム科学コースは、2019年度入学者以降は人間科学コースと名称変更しました。

部局間交流協定校 香港大学 (中国) からの留学生

銭 伊蔓(ちん いまん)さん



香港にはない密に学べる少人数演習

友人がいる東京ではなく、あえて知人のいない場所、しかも憧れの雪を楽しめるところで学びたいと思い北大を選びました。広大なキャンパスは、四季折々の美しさにあふれています。少人数で行われるゼミ形式の演習は、教員とともに日本人学生、他の留学生と密に意見を交わせるため多くの親しい友人ができました。

さらに詳しい留学体験記は「留学ガイドブック」または文学部ウェブサイトで見ることができます。



文学部で取得できる教員免許や資格 「なりたい自分」に向かって計画的に

進路の選択肢を増やす免許や資格 取得に必要な所定単位は要チェック!

文学部では、中高教員免許状の他、美術館・博物館・資料館などの学芸員資格、また、社会調査士の資格も取得できます。資格を持っていると、進路を決める際に選択肢が大きく増え、可能性の幅が広がります。免許・資格の取得には所定の単位の修得が必要です。カリキュラムを計画的に組み立て、単位の取りこぼしがないように気をつけましょう。



教える喜び・難しさを学ぶ

教育職員免許状

中学校・高等学校の教員になるには、教育職員免許状が必要です。この免許状を取得するために開設されているのが教職課程です。教職課程の履修を通して、教育の基礎理論の他、生徒への指導や相談方法など教員に必要な知識や技能を学んでいきます。このため、卒業に必要な単位より多くの単位を修得する必要があります。教育実習も必修です。

- 中学校教諭一種免許状 [国語、社会、外国語 (英語)]
平成30年度の北大文学部生 取得数10件
- 高等学校教諭一種免許状 [国語、地理歴史、公民、外国語 (英語)]
平成30年度の北大文学部生 取得数20件

博物館の企画運営の専門職

学芸員

学芸員とは、「博物館法」に定められた博物館 (美術館、科学館、動植物園、水族館などを含む) に勤務する専門職員です。

主な仕事は、専門分野の調査・研究、資料の収集・整理・保管・展示、利用者へのアドバイス、地域住民に対する社会教育・生涯学習の指導・助言等。他に博物館の運営等の業務もあり、博物館全般の業務をこなします。

法令の定める「博物館に関する科目」を修得し、かつ学士の学位を有することで学芸員になるための資格が得られます。文学部では、学芸員資格取得のための説明会を毎年4月に実施しています。

- 学芸員
平成30年度の北大文学部生 取得数11件 (大学院生5件・計16件)

情報化社会で注目度上昇中

社会調査士

社会調査士資格には、「社会調査士」と「専門社会調査士」の2種類があります。どちらも社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえる能力を有する (調査の専門家) のことです。

「社会調査士」の資格を活かし、社会の動きを読み解くエキスパートとして活躍する場は多彩です。調査会社をはじめシンクタンクやコンサルタント会社、官公庁、マスコミ、IT企業ほか多くの民間企業で、調査の実施、結果の分析、その後の施策の企画立案等に携わります。

文学部では、「社会調査士」資格取得のために必要な科目 (社会調査協会・標準カリキュラムに準拠) を開講しています。「専門社会調査士」は大学院修士課程修了で取得することができます。

- 社会調査士
平成30年度の北大文学部生 取得数7件

演習で培った技術を授業で応用

勤務先 札幌市立もみじ台南中学校
[国語科・英語科教諭]

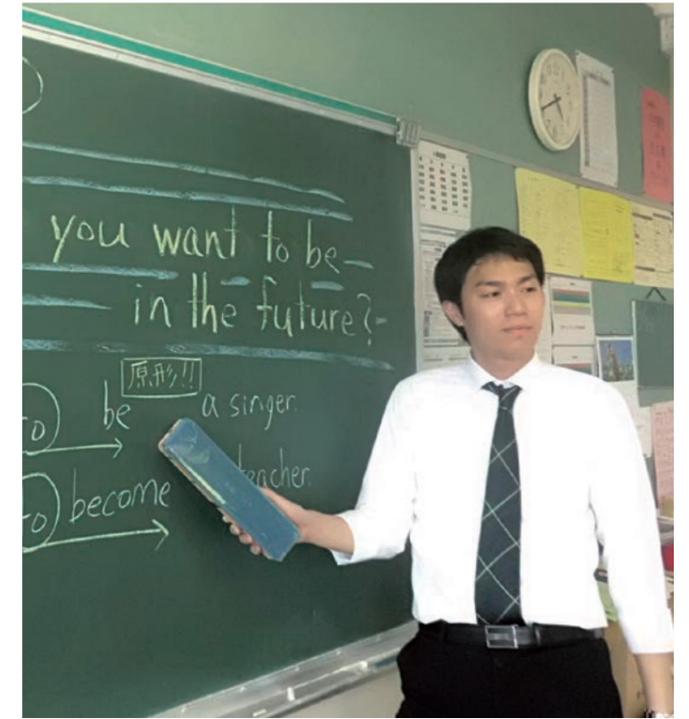
内田 俊樹 (うちだ としき) さん
北大文学部 言語・文学コース (平成28年度卒業)

北海道大学在籍中は英語学を専攻していました。中高で学んだ英語のちょっとした疑問や意外な一面を知ることができ、「面白い学問だな」とのめり込んでいきました。北海道大学文学部は教員の数が多く、バラエティに富んだ講義の中から興味・関心に応じたものを比較的自由に選択することができます。そのため専門性を磨くかわら、幅広い教養を身に付けることができました。

なかでも演習で培った技術は、教員になった現在も役立っていると感じています。例えば、課題の論文の内容をまとめる資料作成と発表で培われた技術は、今受け持っている授業にもそのまま活かされています。また、ゼミや卒業論文で先行研究を読み漁った経験も教材研究に役立っています。

教職はとてもやりがいがある職業です。学級経営や校務分掌など多くの仕事がありますが、生徒と一緒にいる時間が一番長いのは、なんといっても授業です。教員を志す皆さんは、学問に真摯に向き合い、その専門性を高めていってほしいと思います。

※本項は2019年6月現在のデータで構成しています。



異分野の仲間と学ぶ醍醐味を実感

勤務先 本郷新記念札幌彫刻美術館 (公益財団法人札幌市芸術文化財団) [学芸員]

山田 のぞみ (やまだ のぞみ) さん

文学部 哲学・文化学コース (平成23年度卒業)
大学院文学研究科 思想文化学専攻 [修士] (平成25年度修了)
大学院文学研究科 思想文化学専攻 [博士] (平成29年度修了)

問いを立て、考えを言葉にし、議論に参加していたゼミを今振り返ると、問題に直面した時に対処する姿勢を学ぶ機会に恵まれていたと感じます。学内に収蔵されている美術品の展覧会を企画運営するプロジェクトでは、様々な人と協働しながら、教室での学習を実践に移す貴重な経験を積むことができました。

今日のミュージアムでは、異分野との融合を試みた新しい企画や展示も実施されています。在学中に自らの専門と直結した美術館のみならず、自然史系博物館や科学館の学芸員を目指す仲間とともにミュージアムのあるべき姿を考え、課題に取り組むことができるのも、「総合大学のなかの文学部」で学ぶ大きな醍醐味です。

卒業後、美術館勤務を数年経て「学芸員リカレント教育プログラム*」で再び学び始めました。現職の学芸員を含む参加者が、各々の経験を持ち寄り研鑽を積み重ね、とても刺激的です。日々の仕事の位置づけや意義を俯瞰的にとらえる視点を獲得、職場での実務に活かしていきたいと考えています。

*大学で資格を取得後、ミュージアムに就職した現職の学芸員を対象にして、さらに専門的な学びの機会を提供するプログラムです。文化庁の助成を受け、北大文学部が主催して講義や実習を行っています。

※本項は2019年6月現在のデータで構成しています。





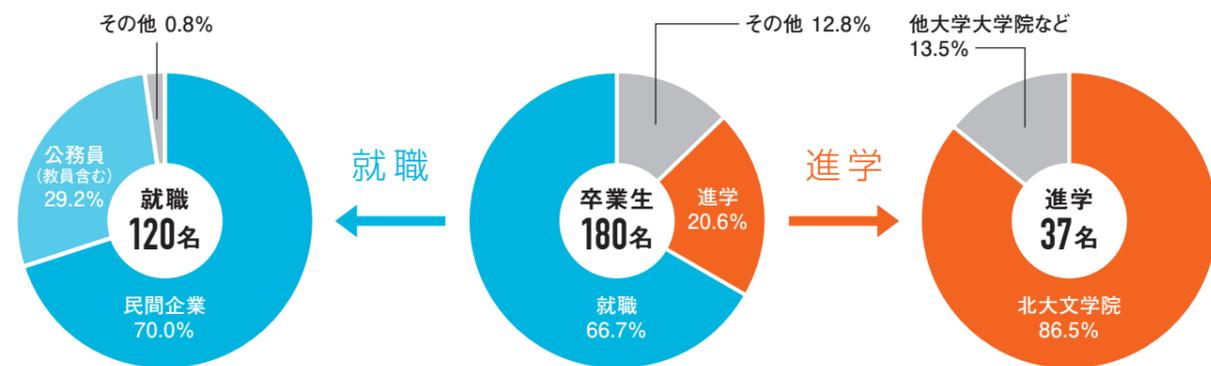
卒業後の進路・就職

文学部で培った「伝える力」を發揮 学びの豊かさを映す多彩な就職先

豊かな学びを吸収した北大文学部生の進路・就職先は、実に多彩です。研究対象を問わず「読む」「聞く」「書く」「説明する」ことに真摯に取り組む姿勢は、文学部生ならではの美点であり、卒業論文を書き上げる過程で「調べる」「分析する」「理解する」「人にわかりやすく伝える」といった、社会で必要とされるスキルもしっかり習得できます。

また、北海道の自然に囲まれ、さまざまな仲間と過ごすキャンパスは、大切な人間形成の場でもあります。コミュニケーションスキルも自ずと磨かれ、社会というステージでのびのびと活躍している先輩たちが大勢います。

進路・就職データ (平成30年度 / 卒業生179名)



約7割が就職、
うち民間企業が7割弱、公務員が約3割

大学院進学は9割近くが北大文学部

学生の一步先をやさしくサポート、進路・就職の説明会も随時開催

文学部では毎年、進路や就職選択のサポート活動として「履修コース説明会」「就職ガイダンス」「大学院進学説明会」などを行っています。また、文学部図書室に設置された就職資料コーナーでは豊富な資料が閲覧できるほか、学生用PC室では就職情報の検索など自由にPCが利用できます。



▲就職ガイダンス



▲大学院進学説明会

社会で活躍! 卒業生

地域社会の「人」と関わる仕事に社会学の視点を活かして

勤務先 株式会社北海道銀行 本店営業部

宮永 彩(みやなが あや)さん

文学部 人間システム科学コース(平成24年度卒業)

「社会」という広い研究分野を学修できれば、将来の選択肢が広がると思います。社会システム科学講座[※]を選択しました。授業は、統計ソフトを操作する社会調査法実習、アイヌ民族の伝統を守る方々に対する面接調査など面白いものばかりでした。卒業テーマは「身近な社会」に関わることとして、当時社会問題になり始めた「DV問題」を選びました。DV被害者に対する市の支援を掘り下げ、面接調査を行い納得のいく卒業論文を完成させました。

就職活動中に「地域社会に不可欠な企業で働きたい」という思いが起これ、北海道銀行に入行しました。銀行員といっても数字を毎日眺めるのではなく、実際に相談を受ける相手は地域社会に住む「人」です。地域社会を考え、お客様と一緒に解決策を考えていくプロセスには社会システム科学講座で得た経験が役立っています。

社会人になって思うのは、どの学部やコースを卒業したかよりも、自分が興味関心のある分野に出会い「私はこれを学びました!と自信を持って言うのが大切だということ。みなさんの学部生活が充実したものになることを願っています。

[※]社会システム科学講座は2019年度の改組で社会学研究室になりました。



お仕事紹介:法人のお客様と信頼関係を築けるように

法人融資係を担当しています。法人のお客様から融資の相談を受け、社内稟議書を作成し融資実行するというのが主な業務です。お客様にとっては北海道銀行の担当者=自分となるので、会社の社長様や担当者様から信頼を得て、何でもご相談いただけるような関係性を築くことを心がけています。

[※]本項は2018年6月現在のデータで構成しています。

業務の底力となっている文学部での経験

勤務先 北海道大学 監査室(監査担当)

小田原 弘明(おだわら ひろあき)さん

文学部 哲学・文化学コース(平成26年度卒業)

高校時代は英語や倫理が好きで、大学では文学部に進学したいと考えました。その中でも北大は、他大学と比較して幅広い分野を学べると感じ進学しました。インド哲学を専攻し、卒業論文執筆時期はサンスクリット語(古代インドの言語)で書かれた文献を読解するために研究室にこもることもありました。これも学生時代ならではの貴重な思い出です。

在学時に窓口で事務職員の方に何度かお世話になったことがきっかけで、事務職員として大学で働くことに興味を持つようになり、職員採用試験に申し込まれました。現在所属している監査室では、他部署の業務内容を確認し、その手続きについて意見を表明しなければならない場面があります。在学中に様々な分野の文献資料を読解し、レポートを執筆したり、演習で発表したりした経験が、業務においても間接的に役立っていると感じます。

北大文学部では地域や時代を問わず、哲学、歴史学、言語学、心理学など好きな分野を学修できます。今日に至るまでの人類の営みに関心がある方はぜひ、北大文学部へ。きっと充実した大学生活を送ることができます。

[※]本項は2018年6月現在のデータで構成しています。



お仕事紹介:大学の教育・研究環境づくりに貢献

高等教育推進機構での窓口業務、施設部での工事契約業務を経て、現在は各部署の業務が法令や学内規則等に沿って適正に行われているかを監査する業務を担当しています。配属先にかかわらず、先生方や学生さんが教育・研究に打ち込める環境づくりに少しでも貢献できることを意識しながら業務にあたっています。

卒業生の就職先(過去3年間の主な就職先)

<p>公務員</p>	<p>名古屋市役所 七尾市役所 新潟県庁 八戸市役所 東神楽町役場 広島県庁 福島県庁 北海道開発局 北海道教育委員会 北海道教育庁 北海道庁 北海道労働局 横浜市役所</p>	<p>情報通信業</p>	<p>製造業</p>	<p>セイコーインスツル TOTO 日本製紙 日本製紙パペリア</p>	<p>ニトリ 日本生活協同組合連合会 ユニクロ ヨドバシカメラ 良品計画 ローソン ロフト</p>	<p>農業・林業</p>	<p>複合サービス業</p>
<p>警察庁 北海道警察情報通信部 経済産業省 北海道経済産業局 厚生労働省 厚生労働省 北海道厚生局 厚生労働省 北海道労働局 国土交通省 国土交通省 関東地方整備局 国土交通省 近畿地方整備局 国土交通省 国土地理院 国土交通省 函館地方海難審判所 国土交通省 北海道運輸局 国土交通省 北海道開発局 財務省 北海道財務局 人事院 北海道事務局 総務省 北海道総合通信局 内閣官房 農林水産省 農林水産省 北海道漁業調整事務所 農林水産省 北海道農政事務所 函館地方検察庁 防衛省 自衛隊 法務省 札幌入国管理局 法務省 札幌法務局 法務省 入国管理局 法務省 法務局 法務省 北海道地方更生保護委員会</p>	<p>教育・学習支援業</p>	<p>ISID-AO アルファポリス 石川テレビ放送 岩崎 Inagora インクリメント・ピー インテック エイチーム NECソリューションイノベータ NTTコミュニケーションズ NTTデータフォース NTTデータ北陸 NTTデータエンジニアリング NTTデータ北陸 NTTデータエンジニアリング NTTデータ北陸 NTTデータエンジニアリング ヤマサキ</p>	<p>味の素 伊藤園 廣瑩堂 サッポロビール ニチロ畜産 弁釜 山崎製パン</p>	<p>金融・保険業</p> <p>青森銀行 秋田銀行 遠軽信用金庫 ジェシービー 七十七銀行 新生銀行 空知信用金庫 大地みらい信用金庫 大和証券 日本政策金融公庫 野村證券 農林中央金庫 北洋銀行 北陸銀行 北海道銀行 みずほフィナンシャルグループ 三井住友銀行 三井住友信託銀行</p>	<p>運輸・郵便</p> <p>四国旅客鉄道 首都高速道路 鈴与 住友倉庫 センコー 全日本空輸 名古屋鉄道 日本郵便 阪急阪神エクスプレス 東日本高速道路 東日本旅客鉄道 ホームロジスティクス 北海運輸 北海道旅客鉄道</p>	<p>不動産業、物品賃貸業</p> <p>肥後あゆみの会 桂和商事 サクシード JA三井リース 東急コミュニティー 日商興産 三井不動産商業マネジメント 三井不動産レジデンシャル ユニゾホールディングス レンタコム北海道 ロイヤル通商</p>	<p>サービス業</p> <p>きょうわ農業協同組合 公立学校共済組合 全国共済農業協同組合連合会 ホクレン農業共同組合連合会 北海道漁業協同組合連合会 共立メンテナンス スターバックスコーヒージャパン 帝国ホテル プリンスホテル エイチ・アイ・エス JTB JTBグローバルマーケティング&トラベル JTBビジネストラベルソリューションズ JTB北海道 TBCグループ ベガスベガス LAVA International ワタナベエンターテインメント</p>
<p>愛知県庁 青森県庁 上田市役所 恵庭市役所 大分県庁 帯広市役所 北見市役所 京都市役所 群馬県北群馬郡榛東村 埼玉県庁 札幌市役所 静岡県庁 下関市役所 大仙市役所 津山市役所 東京都 長野県庁</p>	<p>旭川医科大学 旭川明成高校 帯広畜産大学 札幌市立中学校 札幌市立高等学校 滋賀県立公立学校 静岡県立高等学校 洗足学園中学高等学校 東京医科歯科大学 東京都立中・高教員 富山県立公立学校 兵庫県立高等学校 北海道大学 北海道大学附属図書館 北海道立高等学校 おおぞら幼稚園 河合塾 進学会 ナガセ フーレイ ベネッセコーポレーション れんせい 早稲田アカデミー</p>	<p>キーマネジメントソリューションズ キヤノンマーケティングジャパン GYAO クオリサイトテクノロジーズ 講談社 ZAIZEN 時事通信社 システナ 信濃毎日新聞社 シャノン ジャステック セカンドラボ 総合商研 TBSテレビ DMM.com Donuts 日本アイビーエム・ソリューション・サービス 日本放送協会 農山漁村文化協会 パーソルプロセス&テクノロジー BFT ピクシブ ブイキューブ 富士通 フューチャーインスペース ブライセン 北海道新聞社 北海道テレビ放送 北海道文化放送 マクロミル ユニット 楽天</p>	<p>JXTGエネルギー ネイチャーズウェイ 日立化成 三菱化学エンジニアリング ヤマサキ JFEスチール 大同特殊鋼 ダイニチ工業 新倉工業 日鉄エンジニアリング 日本製鉄 ティーキューオー アドバンテック 村田製作所 シャープ セイコーエプソン 日本アイ・ピー・エム 日本電気 パナソニック 富士通 三菱電機 川崎重工 デンソー北海道 トヨタ自動車 トヨタ自動車北海道 ブリヂストン</p>	<p>卸売業・小売業</p> <p>第一生命保険 東京海上日動火災保険 北栄保険サービス 三井住友海上火災保険 明治安田生命</p>	<p>電気・ガス・熱供給・水道業</p> <p>伊藤忠エネクス 中部電力 日本原燃 北海道ガス 北海道電力</p>	<p>学術研究、専門・技術サービス業</p> <p>アイレップ アクセンチュア エスネットワークス 小田急箱根ホールディングス 建設技研インターナショナル CDG ジェイアール東日本企画 太平電業 大和総研 地域ブランディング研究所 テラスホールディングス ドゥーダ 日本総合研究所 日本伝統芸能家 PwCコンサルティング合同会社 フューチャー 三菱UFJリサーチ&コンサルティング USEN-NEXT HOLDINGS 読売広告社 リンクアンドモチベーション</p>	<p>アウトソーシングテクノロジー インテリジェンス ウォンテッドリー エーソー KDDIエボルバ コンベンションリンケージ シゴトヒト ディスパ バーチャレクス・コンサルティング パソナ バルセロナ 富士フイルムビジネスエキスパート マイナビ LITALICO</p>
<p>愛知県庁 青森県庁 上田市役所 恵庭市役所 大分県庁 帯広市役所 北見市役所 京都市役所 群馬県北群馬郡榛東村 埼玉県庁 札幌市役所 静岡県庁 下関市役所 大仙市役所 津山市役所 東京都 長野県庁</p>	<p>愛知県庁 青森県庁 上田市役所 恵庭市役所 大分県庁 帯広市役所 北見市役所 京都市役所 群馬県北群馬郡榛東村 埼玉県庁 札幌市役所 静岡県庁 下関市役所 大仙市役所 津山市役所 東京都 長野県庁</p>	<p>愛知県庁 青森県庁 上田市役所 恵庭市役所 大分県庁 帯広市役所 北見市役所 京都市役所 群馬県北群馬郡榛東村 埼玉県庁 札幌市役所 静岡県庁 下関市役所 大仙市役所 津山市役所 東京都 長野県庁</p>	<p>愛知県庁 青森県庁 上田市役所 恵庭市役所 大分県庁 帯広市役所 北見市役所 京都市役所 群馬県北群馬郡榛東村 埼玉県庁 札幌市役所 静岡県庁 下関市役所 大仙市役所 津山市役所 東京都 長野県庁</p>	<p>愛知県庁 青森県庁 上田市役所 恵庭市役所 大分県庁 帯広市役所 北見市役所 京都市役所 群馬県北群馬郡榛東村 埼玉県庁 札幌市役所 静岡県庁 下関市役所 大仙市役所 津山市役所 東京都 長野県庁</p>	<p>建設業</p> <p>岩田地崎建設 鹿島建設 ミサワホーム北海道</p>	<p>医療・福祉</p> <p>医療法人 新産健会 CBホールディングス 生活科学運営 北海道民間社会福祉事業職員共済会</p>	<p>愛知県庁 青森県庁 上田市役所 恵庭市役所 大分県庁 帯広市役所 北見市役所 京都市役所 群馬県北群馬郡榛東村 埼玉県庁 札幌市役所 静岡県庁 下関市役所 大仙市役所 津山市役所 東京都 長野県庁</p>





大学院進学

「さらに深く」専門研究に取り組む大学院
11講座20研究室で修士・博士の学位を取得

学部での学びをさらに掘り下げる 北海道大学大学院文学院

北海道大学は研究に重点を置く大学院大学でもあります。文学部の4年間で十分に解明できなかった研究テーマをさらに深く掘り下げたいという人は、ぜひその先の大学院へ。

大学院は、国内さつての人文科学系研究拠点として多くの優れた研究者を輩出しています。修士課程を終えた大学院生の約4割は民間企業に就職あるいは公務員・教員になり、なかには民間企業の研究部門に職を得た人もいます。さらに研究を深めたいときは博士後期課程に進学という選択肢も。北海道大学の充実したサポート環境のもと、専門研究に没頭できます。

平成31年度に、北海道大学大学院文学研究科は文学院に改組されました。文学院は人文学専攻と人間科学専攻の2専攻11講座20研究室から構成されます。

専門研究の基礎を習得、 修士論文を執筆 [修士課程]

標準修業年限は2年間。大学院の授業を受講しながら、指導教員による個別指導を受け、修士論文を執筆します。研究会や学会での発表も重要な訓練の場です。

入試 北大文学部卒業予定者のみを対象とする特別入試のほか、一般と留学生を対象とする前期入試、一般・留学生・社会人を対象とする後期入試の年3回。文学部卒業予定者はいずれも受験できます(特別入試は受験資格に条件があります)。

専門研究を修めた証、 博士学位の取得を目指して [博士後期課程]

標準修業年限は3年間。自立した研究者・専門家を目指し、博士論文の完成を目指します。国内外の学会発表や論文投稿など、研究活動中心の生活を送ります。

入試 9月の前期入試、2月の後期入試の年2回行われます。

専攻	講座	研究室	修士課程定員	博士後期課程定員
人文学	哲学宗教学	哲学倫理学、宗教学インド哲学	71名	28名
	歴史学	日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学		
	文化多様性論	文化人類学、芸術学、博物館学		
	表現文化論	欧米文学、日本古典文化論、中国文化論、映像・現代文化論		
	言語科学	言語科学		
	スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学		
	アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学		
人間科学	心理学	心理学	19名	7名
	行動科学	行動科学		
	社会学	社会学		
	地域科学	地域科学		

専門研究を後押しする豊かな環境のもと、栄えある受賞者が続出

北大大学院文学院の大学院生は、国内屈指の恵まれた環境の中、国内外で高く評価される研究成果を残しています。

〈2018年度 受賞者情報〉

- 日本心理学会優秀発表賞 伊藤資浩さん(博士後期課程)
- 北海道心理学会 奨励賞 伊藤資浩さん(博士後期課程)
- 日本社会心理学会 若手研究者奨励賞 横山美紀さん、本間祥吾さん(修士課程)
- 日本人間行動進化学会 若手発表賞 中田星矢さん(修士課程)
- 暁烏敏賞 猪ノ原次郎さん(博士後期課程)
- 日本ロシア文学会賞 生熊源一さん(博士後期課程)
- 地理情報システム学会 大会優秀発表賞 内藤健裕さん(修士課程)
- 日本哲学会若手研究者奨励賞 秋元由裕さん(博士後期課程修了生)

研究者への道

持てる時間のすべてを知的好奇心に費やして

勤務先 福島大学 人間発達文化学類 准教授

鍵和田 賢(かぎわだ さとし)さん

私の専門は西洋史です。大学2年生の時に訪れたドイツで中近世の姿を留める街々を見て、かつての人々の暮らしに興味を持ったのがきっかけで西洋史の演習に参加するようになりました。演習での多様な歴史の解釈を聞かせる議論は高校までの「覚える歴史」とは全く違う刺激的なもので、その面白さを味わい尽くしたくて大学院に進みました。

大学院で持てる時間の全てを自分の知的好奇心に費やしたことは非常に貴重な経験です。自分のテーマだけではなく、関連する様々なテーマについても時間をかけて学び議論することができたのは、大学院にいたからこその特権だったと思います。北海道大学の国内屈指の豊富な蔵書を始め、大学の環境もそれを可能にしてくれました。

知的好奇心の赴くままに、頭を精一杯働かせて知識を求め・考え・表現するという経験は、どのような進路を選ぶにせよ決して無駄にはなりません。ぜひ大学院でそのような学びを体験してみてください。



PROFILE

平成16年北大文学部歴史学・人類学コースを卒業後、大学院文学研究科歴史地域文化学専攻修士課程を経て平成25年9月博士後期課程修了。博士(文学)。平成26年より現職。ヨーロッパ史全般の卒論指導や世界史の指導法に関する授業を担当。直近の論文では中近世のヨーロッパ都市に存在したキリスト教徒の宗教社団である「兄弟会」を分析した。

文学院での学びを社会に活かすための教育プログラムを新設

「教養深化プログラム」を新設

●プログラム設置の背景と目的

人文・社会科学分野の大学院教育においては、研究者育成だけでなく、社会の多くの分野で活躍する人材の育成が求められています。教養深化プログラムは、教員、公務員や民間企業等への就職を希望する学生を対象とするプログラムです。

学部を卒業してすぐに就職するのではなく、修士課程に進学し、専門分野の研究をさらに深めるとともに、人文社会科学諸分野の総合的な学修と、社会で役立つジェネリックスキル[※]の習得を実践することにより、高度な専門知識を有し即戦力となる人材を育成します。博士後期課程の学生にとっても、幅広いキャリアが開けるでしょう。

※ジェネリックスキル：社会人として活躍できる能力のこと。具体的には「知識活用力」、「課題解決力」、「コミュニケーション力」、「チームワーク・リーダーシップ」等の社会で役立つ汎用的な力を指す言葉として使われています。

教養深化科目群(プログラム生限定科目)

教養深化特別演習(基礎・総合)

- 多角的に分析し複合的に考察・表現する能力を身に付けます。
- 専門研究に関連づけた実践を通じて、総合力の一層の充実を図ります。

サイエンスリテラシー特別演習

- 数理的思考とデータ処理・活用法を学びます。
- 科学研究の最先端に触れ、科学的リテラシーを身に付けます。



ジェネリックスキル科目群(大学院共通授業科目)

ジェネリックスキル特殊講義・ジェネリックスキル特別演習

- 文系学生向けのキャリアマネジメントやキャリア形成、交渉学やプレゼンテーション技法等を学びます。



修了要件を満たすとディプロマを取得できます。
国内外の企業、公的機関等で活躍できる人材に!

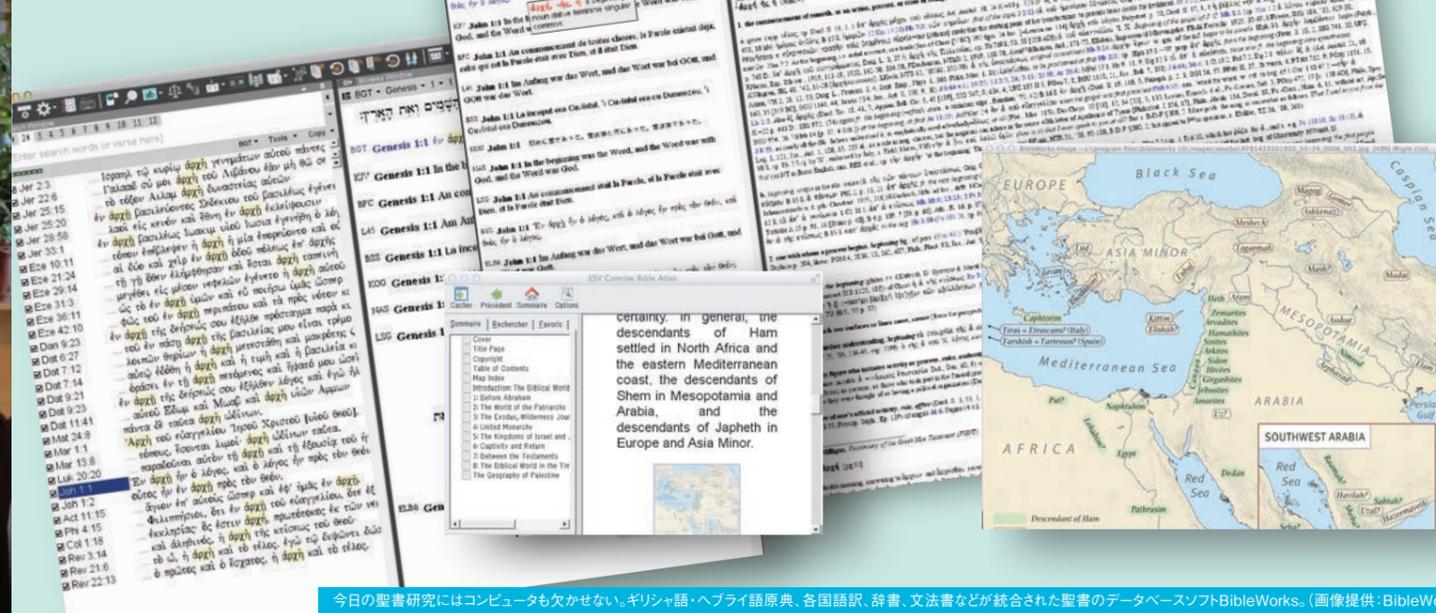


▲サイエンスリテラシー特別演習「デジタルクリエイティブ基礎」
<https://www.let.hokudai.ac.jp/general/cultural-enrichment-program>

研究者に学ぶ

～専門研究の魅力を知る～

北大文学部の教員は学生をいざなう教育者であると同時に、各自が関心を持つ研究テーマに取り組む研究者でもあります。学部移行とともに専門研究のスタートラインに立つ皆さんに向けて、4人の教員が専門研究の魅力を紹介いたします。



サハリンや北海道の近世文書が所蔵されるロシア・サントペテルブルクの研究所にて。北海道の歴史を考えるには、国際的な共同研究も欠かせません。

今日の聖書研究にはコンピュータも欠かせない。ギリシャ語・ヘブライ語原典、各国語訳、辞書、文法書などが統合された聖書のデータベースソフトBibleWorks。(画像提供：BibleWorks社)

日本史学研究室

谷本 晃久 教授

TANIMOTO Akihisa

谷本先生の研究テーマは何ですか？

近世日本(江戸時代)の社会史に取り組んでいます。とりわけ「蝦夷地」と呼ばれた北海道・千島列島・サハリンをフィールドとしていますから、主体的なアイヌ史の構築にも関心に向けています。素材は主に和文の古文書ですが、その所在は世界各地に及んでいるため、近年はロシアとの共同研究を進めています。

宗教学インド哲学研究室

佐々木 啓 教授

SASAKI Kei

佐々木先生の研究テーマは何ですか？

ヨハネ福音書を中心とする新約・旧約聖書の研究を発端として、キリスト教の成立とその異端(グノーシス主義)をめぐる諸問題、さらに、「異端の研究者」であるルーマニア人宗教学者ヨアン・ペトル・クリアヌの宗教研究や現代フランス人哲学者ポール・リクルールの「聖書解釈学」をめぐる哲学思想などについても追究しています。

学問の「消費者」から「生産者」へ。 自らの足元の歴史を掘り下げることから、みえてくる地平がある。

「日本史」という枠組みは、高校の科目にもありますから、皆さんにとって馴染みが深い分野でしょう。高校で「日本史」を履修しなかった方でも、小学校・中学校の「歴史」の授業で、日本史に関する内容は必ず学習したはずですよ。

いま、「学習」という言葉を使いましたが、大学で学ぶ日本史は、決められた教科書をきっちり覚える学習とは、ちょっと違います。求められるのは、課題を自ら設定し、信頼のできるソース(史料)を専門的な手法で分析を行ない、客観的な論拠を提示し叙述する姿勢です。いわば、成果品を享受する「消費者」から、消費に耐える商品を提供する「生産者」への転換です。

わたしは現在、「近世蝦夷地在地社会の研究」を看板に、仕事を進めています。江戸時代の北海道・サハリン・千島列島に結ばれた社会の構造を、古文書を素材としながら日々分析を進めています。…とこう書くと、ローカルな郷土史研究だなあ、と思う方もあるかもしれません。ただ、世界中どこをみわたしても、社会史研究は、ローカルな事例を深く具体的に分析することから始まるものです。

江戸時代の北海道を例にとると、そこには、アイヌ語を母語としアイヌ文化を自らの文化とした集団と、日本語を母語とし和風文化を自らの文化とした集団とが織りなした、独特の社会秩序が息づいていたことに気づきます。異文化に属する集団の存在を前提とした、相互に交流と軋轢を抱えながらの社会が、つい150年ほど前の北海道にはあったわけです。

異文化理解や民族紛争といえ、どこか遠い世界へ出かけて行かなければ直視できない課題と思われがちですが、このように、自らの足元を見つめ直すことで、考えをめぐらせていくこともできるわけです。もちろんそれは、北海道や日本の社会の抱える、アイヌのびとをはじめとした方々との民族共生や和解のありかたの模索といった現代的課題へ、歴史学的にアプローチすることにも通じていきます。

このように、北海道の歴史には、大きな課題解決のヒントが豊富に含まれています。あなたも、地道に古文書を解読しつつ、「生産者」としてその鉱脈を探してみませんか？



音威子府村にて。背景は天塩川。道内各地での史料調査は、研究の基本です。

略歴

- 1993年 学習院大学文学部卒業
- 1998年 同大学大学院人文科学研究科博士後期課程中退
- 1998年 同大学文学部助手
- 2000年 北海道教育大学若見沢校助教授
- 2007年 同大学札幌校准教授
- 2008年 北海道大学大学院文学研究科准教授
- 2018年 同教授
※現在、アイヌ・先住民研究センター兼務教員・附属図書館研究開発室員(北方資料担当)を併任
- 2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科教授(現在に至る)

略歴

- 1985年 北海道大学大学院文学研究科博士後期課程哲学専攻(宗教学専修)中退
- 1985年 北海道大学文学部(宗教学講座)助手
- 1991年 弘前学院大学文学部講師
- 2002年 北海道大学大学院文学研究科助教授
- 2010年 同准教授を経て、同教授
- 2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科教授(現在に至る)

統計によると、キリスト教徒の人口は世界の総人口の3割強になります。世界に出れば、3人に1人以上がキリスト教徒だということです。キリスト教は日本よりも世界において、「ありふれた宗教」だということになります。ですから、実は日本よりも(中国や韓国などアジアの国々も含む)国外においてキリスト教についての研究を発表する方が容易だ、という面もあります。われこそはと思う人は、ぜひキリスト教を深く学んで、国際的に活躍するきっかけをつくって欲しいものです。



私の専門は「宗教学」ですが、「宗教」と同じくらい、この「宗教学」という学問領域も茫漠としているかもしれません。いずれにせよ、究極的には、「宗教とは何か?」という問いに答えようと試みるのが「宗教学」だといえます。

私の最も中心となる研究対象は、キリスト教の新約聖書に含まれる「ヨハネ福音書」という文書です。このテキストはコイネーと呼ばれるギリシャ語で書かれており、その内容や言語についてさまざま角度から検討するというのが研究の出発点でした。キリスト教は西洋世界においておよそ2000年の歴史を持っていますので、いきおいその聖書についての研究の歴史は長く、読むべき文献も膨大にあります。そういった研究書の言語は多岐に渡るため、ギリシャ語や(旧約聖書の言語である)ヘブライ語といったテキスト自体の言語はもちろん、蓄積された研究史を学ぶために、いくつも西洋の言語を身につけなければなりません。

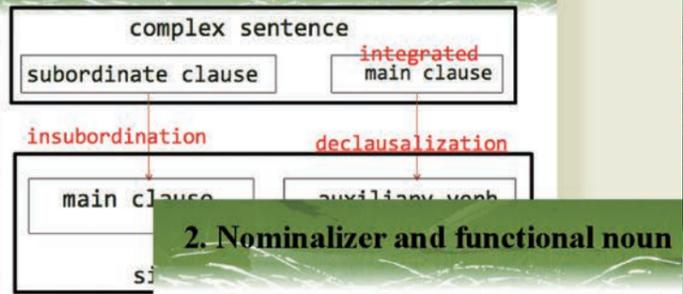
私は、この核となるごく狭い専門分野から始めて、旧約聖書をも含む聖書全般、キリスト教の成立や、その異端とされる「グノーシス主義」をめぐる諸問題、さらに現代の日本にまで至るキリスト教という宗教全般について研究を続けてきました。その過程で、ヨアン・ペトル・クリアヌというルーマニア人宗教学者と出会い、早世した彼の独特な業績を探究するという副業も生じました。また、聖書とキリスト教をめぐる私の研究は、そもそも学部の卒業論文でとりあげた現代フランスの哲学者ポール・リクルールの思想と深く結びついており、宗教をめぐる彼の哲学思想についてもずっと研究を続けています。

人文学 Cafe
第6回

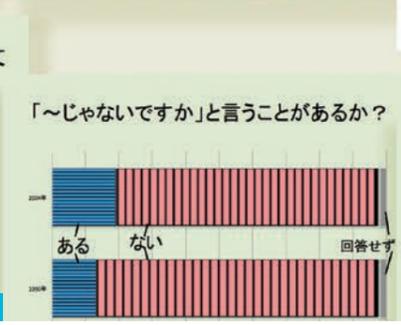
その言い方が人を怒らせる
—文脈を科学する—
加藤 重広 (北大文学部)

Pragmatic Preference
in Japanese

Shigehiro KATO
Hokkaido University
katosige@let.hokudai.ac.jp



【喫茶店にて】「コーヒー、1つ」「ご注文は以上でよろしかったでしょうか」
←思い出しているわけではない(ロゴスとしては不適切)。
←予約確認など既に客として受け入れた扱いをする丁寧な印象を伴う。丁寧な印象を出したいというパトス。
cf. 「どうも、加藤でした」(北海道弁)



配慮の実現

ashita furansu-ni
tomorrow France-DAT.G
ko-wa shit-teiru.
ko-TOP know-ASP
ro will go to France

□ (14) Taro-wa ashita furansu-ni iku
Taro-TOP tomorrow France-DAT.G go.
Taro will go to France tomorrow.

・「この書類、明日までに提出して下さい」
・「この書類、できれば明日までに提出して下さい」
・「この書類、できれば明日までに提出してもらえると助かるんだけど」



静内研究牧場の初夏の様子。広大な草地でのびのびと暮らすウマのコミュニケーション行動を朝から日暮れまで観察している。

言語科学研究室

加藤 重広 教授
KATO Shigehiro

加藤先生の研究テーマは何ですか？

日本語を言語学的に研究しています。他言語との違いに注意を払いながら、日本語の文法(文法論)や運用・使い方(語用論)を解明することが研究の中心ですが、言語研究の基盤となる分析概念の研究(言語学基礎論)、言語学の歴史(言語学史)、各地の方言や共同体の言語の研究(社会言語学)にも取り組んでいます。

行動科学研究室

瀧本 彩加 准教授
TAKIMOTO Ayaka

瀧本先生の研究テーマは何ですか？

さまざまな動物のこころを調べて比較し、その動物らしさを明らかにしながら、こころがどのような道筋を経て進化してきたのかを探る研究、比較認知科学・動物心理学を専門としています。最近では特に、仲間と絆を築いたり、仲間を思いやったりするような「仲間とかかわるこころ」についての研究に力を入れています。

日常の疑問もすくいとることばの研究は
社会言語学や方言学、心理言語学にも広がる「テーマの泉」。

日常のことばのなかのふとした疑問からも分析や研究は始まります。例えば、「ポチ袋」ということばを耳にして「ポチ」って何だろうと疑問を立てれば、それもテーマになります。ポチはフランス語「小さい」の意の形容詞「プティ (petit)」が転じたという人がいますが、これは単なる思いつきで正しくありません。しかし、表記にひきずられず、「これっぽち」って言うなあ、「ポッチ」ということばもあるなあ、と考えられれば正解に近づいていきます。

実は「ポチ」は歴とした日本語で「少ない・小さい」の意なのです。昔よくあったイヌの名の「ぼち」は小さいから、量が少ないことを示す助詞・接尾辞で使えば「これっぽち」「ひとりっぽち」、小さい突起が「ぼっち」、小さい袋が「ぼち袋」なのですが、「ぼち」の本来の意味が忘れられた結果、現在では意味のつながりが見えなくなり、辛うじてばらばらに残存するだけの状況になっています。規則に従って新しい語形を作り出す力を言語学では「生産性」と言いますが、生産性は失われています。「ぼち石」「ぼち猫」とは言いませんからね。

20世紀の言語研究は、ことばを固定して対象化して構造を抽出する、静的な研究手法を重視しました。生き物を観察する時も動き回らないように固定した方がやりやすいのですが、動かない標本の観察だけではわからないことがあります。ダイナミックに動く言語を見てその本質を捉えるのは難しいことですが、動的な研究手法の確立を目指す新たな言語研究に私も関心を持っています。例えば、ことばを使う上での好み(選好と言います)が傾向をなし、文法が作られるという考え方で日本語

を見ると、日本語の癖が文法的な特徴と結びつくことがわかります。最近は、ことばを複雑系の1つ(特に複雑適応系〈Complex Adaptive System; CAS〉)と見なす考え方を基盤に言語学自体を再構成したいと考えています。ことばの研究は、音声・形態・文法・意味・運用などの領域を、社会言語学や方言学、心理言語学など多角的に広げられるので、汲めども汲めども尽きることなく、興味深いテーマがわき出てくる清冽なる泉のように私には思えるのです。



よく見て、感じて、考えて
客観的かつ説得的な証拠を集めて、動物のこころを科学する。

皆さんは「動物は何を感じ、考えているのだろう」と不思議に思ったことはないですか。私の場合、大学で馬術部に入部し、毎日ウマと一緒に過ごす中で、そんな疑問が自然と湧いてきました。それが動物の心理学の世界に足を踏み入れたきっかけでした。

私が研究してきたウマやフサオマキザルは、仲間とかかわり合いながら暮らす動物です。ウマはまた私たち人間と古くからともに暮らし、親密な関係性を築き上げてきました。私は、彼らが他者とかかわり合いながら育んできたこころを観察・実験によって調べ、その進化の道筋を探っています。

ただ、動物のこころを理解するというのはなかなか大変な作業です。動物の行動は見ればわかりますが、こころは中をのぞくことも「どう思っているの?」と尋ねて聞き出すこともできないからです。言葉に頼らずに動物のこころを明らかにするには、行動からそれを支えるこころを推測するしかありません。重要なのは観察力・想像力・発想力です。私たちはとにかく動物の行動をよく観察します。彼らの行動は実に多様で個性に富み、今でも日々驚かされるほどで、見ていて飽きません。興味深い行動を見つけたら、そのこころの中に思いを馳せ、例えば、「仲間の手助けをするのは見返りを期待しているからだろう」と仮説を立てます。その仮説を証明するために、観察・実験を通して客観的な証拠を集めます。その際、いかに「目に見えないこころを行動としてうまく引き出し、仮説以外の説明を排除できる洗練された方法」を考案できるかが研究者の腕の見せ所です。

動物たちのこころにはまだまだ謎が潜んでいます。名探偵になったつもりでその謎を一緒に解き明かしてみませんか。



フサオマキザルの食べ物の分配実験場面。右側の分配者は、左側の受け手に対して、大好きなピーナッツを与えるかどうかを決めることができる。受け手との関係性や場面を細かく変えてどんな要因が分配に影響するかを調べる。



入試関連情報

文学部に進学するための入試は以下のとおりです。

			募集人員	令和2年度試験日	試験科目
一般入試	総合入試文系	前期日程	100名*	令和2年2月25日	国、地歴・数、外
	学部別入試		118名		
		後期日程	37名	令和2年3月12日	総合問題
帰国子女入試			若干名	令和元年11月24日	(二次)課題論文、面接
私費外国人留学生入試			若干名	令和2年2月14日	(二次)小論文、面接ほか

※一般入試(前期日程)では、総合入試文系と文学部のいずれを受けても試験科目は同じです。ただし、定員・倍率・合格最低点などは異なります。総合入試文系で入学した学生は、2年次進級時に法・経済・教育・文学部のいずれか(理系学部も可)に移行しますが、学部ごとに移行人数が定められており、文学部へは30名が移行します(所属学部は本人の志望と入学後の成績に基づいて1年次終了時に決定します)。文学部一般入試後期日程では、「総合問題」のみを課します。

文学部ではAO入試、推薦入試、編入学試験は行っていません。

一般入試後期日程に総合入試はありません。総合入試文系、文学部前期日程、文学部後期日程のいずれの試験に合格して入学しても、文学部に進級する場合、履修する授業や必要な単位などの条件は特に変わりありません。ただし、1年次のクラスは総合入試文系での入学者と学部別入試の入学者で異なります。詳細および最新情報は「募集要項」のほか、以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ→「入学案内」 <https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

学生サポート情報

入学科・授業料免除

入学科、授業料の納入が困難な学生に対して、入学科の全額または半額、授業料の全額、半額もしくは4分の1を免除または徴収を猶予する制度があります。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ
→[学生生活]→[各種手続き・証明書]→[入学科・授業料]

参考:
平成31年度入学科 282,000円
平成31年度授業料 年額535,800円
※金額は改定されることがあります。

奨学金

北海道大学で取り扱っている奨学金は、日本学生支援機構、民間・地方自治体等奨学団体の奨学金があります。奨学金は種類によって返還義務のある「貸与」及び返還義務のない「給付」とに分けられます。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ
→[学生生活]→[各種手続き・証明書]→[奨学金]

国際交流室

文学院・文学部の留学生受入、在学留学生の支援、学生の海外派遣など国際交流に関わる業務を行っています。また、文学部の学生が、協定校に交換留学する際の相談受付や留学先の情報提供、申請手続きの支援、協定校との仲介、留学中の情報交換なども行っています。留学に関心のある人はお気軽にお立ち寄りください。

文学院・文学部 国際交流室
<https://www.let.hokudai.ac.jp/general/support-organization>



国際交流室では「文学院・文学部留学ガイドブック」を配布しています。

国際交流室教員

ラフェイ ミシェル 准教授 LA FAY Michelle
■研究分野
日本におけるプロテスタントキリスト教、内村鑑三

学生相談室

学生生活の中では様々な不安や悩みを抱えることがあります。学生相談室では、その様な時に専門のカウンセラーが、みなさんの話を聞き、適切なアドバイスを行います。北海道大学全体の相談室の他に、文学部の建物内にも学生向けの相談室を設けています。

北海道大学 学生相談室
北海道大学トップページ
→[学生生活]→[キャンパスライフサポート]
→[学生相談総合センター学生相談室]

文学部 学生相談室
文学部トップページ
→[総合]→[学生生活]→[学生相談室]



▲文学部学生相談室

保健センター

北海道大学には、学生の保健衛生及び保健指導を行う保健センターがあります。専門医・カウンセラーによる健康相談と応急的な診療の他、定期健康診断や健康診断書・健康診断証明書の発行などさまざまな支援を無料で行っています。

北海道大学 保健センター
<https://www.hokudai.ac.jp/hoken/>

キャリアセンター

就職活動をはじめ、学生ひとりひとりのキャリアデザインを支援し、社会人としての自立のサポートをします。就職ガイダンスや就職相談の他、インターンシップ支援、公務員受験支援、教員採用試験支援なども行っています。

北海道大学キャリアセンター
<https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/cc/>

ウェブサイトから北海道大学や文学部の情報を!

北海道大学 大学院文学研究院・文学院・文学部



<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

とって北大生 STUDENT'S LIFE STYLE BOOK

学生生活実態調査の結果に基づき、北大生の生活実態をグラフなどを用いてわかりやすく紹介しています。



<https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/1809tottemo.pdf>

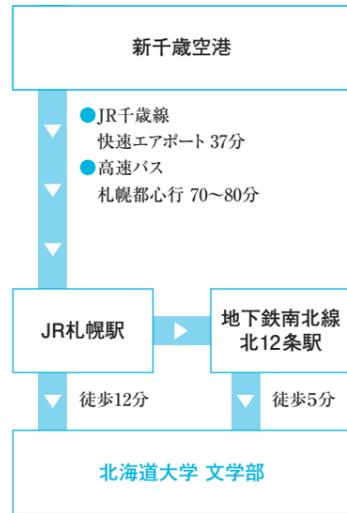
文学研究院 Facebook

北海道大学大学院文学研究院の公式 Facebook ページです。当研究科の研究活動や研究情報を中心に更新します。



<https://www.facebook.com/Hokudai.Humanities.HumanSciences/>

Access



文学部周辺地図



国立大学法人
北海道大学 文学部
 〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
 連絡先 文学事務部教務担当
 電話 011-706-3005 / 011-706-3004 (直通)
 URL <https://www.let.hokudai.ac.jp/>
 School of Humanities and Human Sciences, Hokkaido University
 Kita 10, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, 060-0810 Japan

- 制作・発行 北海道大学 大学院文学研究院
- 編集担当 林寺正俊、村田勝幸、佐藤知己、笹岡正俊 (広報誌専門部会委員) 森岡和子、山下朋美 (研究推進室)
- 企画・編集 株式会社スペースタイム
- デザイン 株式会社デクスター / 小杉宗司

■本誌に掲載されている情報は2019年7月現在のものです。■本誌の無断複製(コピー)・転載は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

